

平成 26 年度

# むつ市教育委員会の事務の 点検及び評価に関する報告書

— 平成 25 年度の実績 —

平成 26 年度 むつ市教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書 (平成 25 年度の実績)



むつ市教育委員会

平成 26 年度  
むつ市教育委員会の事務の点検及び  
評価に関する報告書  
— 平成 25 年度の実績 —

編 集 むつ市教育委員会総務課  
発 行 むつ市教育委員会  
発行年月 平成 26 年 8 月

## まえがき

おつ市教育委員会は、おつ市を次の時代に引き継いでいくための人づくりと、市全体、あるいはそれぞれの地域における特色ある文化を大切に育てていくためには、生き生きとした人々が地域にあふれ、様々な活動に取り組むことを支える教育を充実させていくことが重要であると考え、教育施策の充実に努めております。

こうした取組につきましては、これまでも様々な機会を通じて市民の皆様にお知らせしてきたところですが、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされました。

この法律改正を受け、おつ市教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的に、外部の学識経験者などから意見を伺いながら、毎年いくらかでも実施事業の内容を高め、着実におつ市の教育を向上させることができるよう事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

市民の皆様には、この報告書を御覧いただき、おつ市の教育とおつ市教育委員会の取組について、理解を深めていただければ幸いです。

おつ市教育委員会では、今後も、おつ市教育基本計画に基づき教育施策の推進に努めてまいりますので、市民の皆様の御支援と御協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成26年8月

おつ市教育委員会

# 目 次

◇点検・評価に当たって	1
◇むつ市教育基本計画	3
<b>1 ア 教育環境の整備促進</b>	
（重点項目）	
（1）学校規模の適正化	4
（2）安全・安心な学校施設の整備	5
（3）時代に対応した教育内容の充実	6
<b>1 イ 活力ある学校教育の推進</b>	
（重点項目）	
（1）教員の適正・適切な配置	8
（2）通学区域制度の適切な運用及び再編	9
（3）学校規模の適正化に係る研究・検討	9
（4）就学困難な児童生徒等に係る就学援助	9
（5）学校評議員制度の充実	1 1
（6）幼稚園への就園奨励	1 1
（7）奨学金制度の充実	1 2
（8）学校保健の充実	1 3
（9）学校給食の充実	1 5
<b>2 生涯学習の推進 文化の充実</b>	
（重点項目）	
（1）生涯学習推進体制の整備と充実	1 8
（2）学習活動の支援の充実	1 9
（3）家庭・学校・地域の連携促進	2 2
（4）芸術・文化活動の奨励と振興	2 3
（5）郷土の文化遺産の保護・保存と活用	2 4
（6）地域の文化活動の推進と関連団体の育成	2 6
（7）社会教育施設の有効活用	2 7

### 3 「生きる力」を育む学校教育の推進

(重点項目)

(1) 小中一貫教育の充実	3 0
(2) 質の高い教育課程の創造	3 2
(3) 学力向上対策の充実	3 2
(4) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化	3 3
(5) 特別支援教育体制の充実	3 6
(6) 教育相談活動の充実	3 7
(7) 国際化に対応する教育の推進	3 8
(8) 教育研修センター講座等の充実	4 0
(9) 弘前大学教育学部との連携強化	4 1
(10) 文化・交流事業の充実	4 1

### 4 公民館活動の推進

(重点項目)

(1) 公民館の適正管理と運営の充実	4 6
(2) 公民館事業の推進	4 8
(3) 社会教育団体等の育成支援	5 2
(4) 生涯学習関連施設等との連携促進	5 5
(5) 視聴覚ライブラリーの充実	5 7

### 5 地域の教育・文化の向上発展と産業振興

(重点項目)

(1) 図書館施設の適正管理	6 0
(2) 図書館サービス活動の充実	6 2
(3) 利用者ニーズに即した資料整備	6 5
(4) 子どもの読書活動の推進	6 6

### 6 生涯学習の推進 施設利用者の支援

(重点項目)

(1) 効率的な施設の利用	6 9
(2) 体験型生涯学習の場の提供	7 0
◇点検・評価対象一覧	7 2

## ◇ 点検・評価に当たって

### 1 経緯

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され（平成20年4月施行）、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

この法律改正を受け、むつ市教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

### 2 点検・評価の方法

#### (1) むつ市教育施策の方針

むつ市教育委員会では、「むつ市教育基本計画」を定めるとともに、毎年度、各課（館）における重点項目を定め、具体的な取組（事業）を実施しています。

#### (2) 点検・評価の対象

平成25年度の点検・評価に当たっては、各重点項目を推進するために平成25年度に実施した具体的な取組（全97事業、71ページ以降に点検・評価対象一覧として掲載）を点検対象として、その点検結果を踏まえ、各重点項目（全40項目）ごとに自己評価を行い、その評価に基づき、6つの施策ごとの総括的な評価を行いました。

#### (3) 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、「点検・評価アドバイザー会議」を開催し、学識経験者等の「点検・評価アドバイザー」からその実施方法や内容について意見をいただき、報告書の作成を行いました。

なお、いただいた意見のほとんどは報告書に反映させておりますが、今年度反映できなかった一部の意見については、来年度以降、引き続き検討を行うこととしています。

### 3 報告書の構成

#### (1) 全体構成

報告書は〔1 ア 教育環境の整備促進〕、〔1 イ 活力ある学校教育の推進〕、〔2 生涯学習の推進、文化の充実〕、〔3 「生きる力」を育む学校教育の推進〕、〔4 公民館活動の推進〕、〔5 地域の教育・文化の向上発展と産業振興〕及び〔6 生涯学習の推進 施設利用者の支援〕の6つの施策ごとに構成されています。

#### (2) 重点項目の点検（平成25年度の具体的な取組状況）

重点項目を推進するための具体的な取組状況について、個々の事業が適切に実施されているかどうか、その概要・計画・実績を点検しています。

#### (3) 重点項目の評価（点検結果を踏まえた評価）

各重点項目について、具体的な取組状況の点検結果を踏まえ、成果・課題等の評価しています。

#### (4) 昨年度と比較して改善された事項

重点項目における対象事業について、今後の着実なレベルアップのために昨年度と比較して改善した事項を記載しています。

#### (5) 施策の総括的評価

重点項目の点検及び評価に基づき、施策分野に係る総括的な成果・課題等の評価しています。

～ 点検・評価アドバイザー会議の概要 ～

◆平成26年度点検・評価アドバイザー

氏名	団体・役職
佐藤 広政	むつ市連合PTA会長
竹浪 和夫	元第二田名部小学校長
渡邊 悟	元むつ市企画部長

(50音順、敬称略)

◆点検・評価アドバイザー会議の開催状況

- ・第1回点検・評価アドバイザー会議（平成26年8月7日）  
〈内容〉 ・教育委員会の事務の点検及び評価の概要について  
・点検及び評価の実施方法に関する意見について  
・説明担当課：総務課（総務グループ、学務グループ、施設健康グループ）  
学校教育課
- ・第2回点検・評価アドバイザー会議（平成26年8月8日）  
〈内容〉 ・教育委員会の事務の点検及び評価の概要について  
・点検及び評価の実施方法に関する意見について  
・説明担当課：生涯学習課（下北自然の家を含む。）、中央・川内・大畑・  
脇野沢公民館、図書館

◆アドバイザーからの主な意見

〈点検・評価の実施、報告書の作成に反映させた主な意見〉

- ・専門的な単語は避け、市民にもわかりやすい文章とすること。
- ・各課（館）の事業内容の書き方を統一できるようにすること。
- ・文章、語句等において、報告書として提出するに当たり、より適切な表現とするようにアドバイスがあった。

〈次年度以降、引き続き検討することとした主な意見〉

- ・教育上有益な事業については、財政状況を勘案のうえ、継続できるように検討してほしい。
- ・初期の目的を達成した事業については、検証のうえ終了させることも必要である。
- ・市民に公表されることを意識し、難しい表現を改め、読みやすい報告書となるように努めること。また、公民館や図書館等の施設においても、案内や看板の表記などを市民にわかりやすい言葉を使うように要望があった。
- ・その他、教育行政全般にわたり、適切なアドバイスがあった。

参考

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

- 第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## ◇おつ市教育基本計画

### 【基本方針】

おつ市教育委員会は、「人と自然が輝く やすらぎと活力の大地 陸奥の国」を目指し、人間尊重の精神を再考し、生涯学習の基本的な使命を追求する。特に一人一人の自己実現、個人の資質・能力の向上、国際社会の一員として生き抜く人間像を志向して、健康で自ら学ぶ意欲を持ち、創造的で実践力に富む、おつ市民の育成に努める。

次の世代を担っていく若者を育成するために、基礎・基本の徹底と確かな学力の定着を図り、生きる力と夢を育む学校教育を実現し、生涯にわたる基盤づくりを推進する。併せて一人一人の学習と社会参加を実現する社会教育を通して、人間性や社会性など豊かな心と健やかな体を育成する。

また、この変化の速い社会経済情勢をよく考え、市民相互のふれあいや自然との融合を考えた多彩な文化創造を推進する。

# 1 ア 教育環境の整備促進 (担当課：総務課総務グループ・施設健康グループ)

## 【重点項目】

- (1) 学校規模の適正化
- (2) 安全・安心な学校施設の整備
- (3) 時代に対応した教育内容の充実

### ■ 重点項目の点検 (平成25年度の具体的な取り組み状況) ■

#### (1) 学校規模の適正化

事業名		児童生徒通学輸送事業	
概要	学校統合により徒歩での通学が困難な児童生徒の安全な輸送を行うため、スクールバスの運行を行う。		
計画	関根地区 (烏沢) 奥内地区 (大室平・金谷沢・中野沢) 大湊地区 (角違・城ヶ沢) 川内地区 (戸沢・蛸崎・湯野川) 大畑地区 (小目名・赤川) 脇野沢地区 (源藤城・九艘泊・小沢) から通学する児童生徒の安全な輸送を行う。	実績	輸送時の事故もなく、安全に輸送を行うことができた。 対象人数：263人
予算	予算総額 76,072,290 円 (内訳) バス委託料 関根地区 5,569,200 円 奥内地区 13,068,300 円 大湊地区 9,922,500 円 川内地区 18,754,470 円 大畑地区 14,525,700 円 脇野沢地区 14,232,120 円	決算	決算総額 74,483,850 円 (内訳) バス委託料 関根地区 5,556,600 円 奥内地区 12,070,800 円 大湊地区 9,879,450 円 川内地区 18,375,000 円 大畑地区 14,427,000 円 脇野沢地区 14,175,000 円

#### 【成果】

輸送時の事故はなく、安全な輸送を行うことができた。今後も児童生徒の安全を第一に考えた輸送に努める。

#### 【課題】

スクールバスの乗車対象となるのは統合(閉校)した学校の学区に住む児童生徒だが、統合前からの学区でも学校まで遠いのでスクールバスに乗車させてほしいとの市民意見がある。希望する児童生徒を全てスクールバスに乗車できるようにすると、基準の崩壊に繋がるとともに、民間業者の圧迫につながりかねないため、スクールバスの運営主旨について周知する必要がある。

#### スクールバス運行経路

地区	運行区間
関根地区	烏沢～出戸～関根小
奥内地区	大室平～金谷沢～奥内小～近川中 中野沢～近川中～奥内小
大湊地区	大川目～角違～大湊中～大湊小
川内地区	戸沢～田野沢～川内小・川内中 蛸崎～宿野部～川内小・川内中 湯野川～安部城～川内小・川内中
大畑地区	赤坂～関根橋～正津川～大畑小～大畑中 赤川～大畑小～大畑中
脇野沢地区	源藤城～脇野沢小～脇野沢中 九艘泊～脇野沢中～脇野沢小 小沢～深石～脇野沢小～脇野沢中

## (2) 安全・安心な学校施設の整備

事業名	関根中学校建設事業		
概要	関根中学校は、昭和38年に建設された木造二階建ての校舎で、老朽化が著しく、雨漏りや冬期間には雪が吹き込むなど、施設の環境は劣悪な状況にある。学校建設により児童生徒の教育環境の整備が図られ、小中併設型による一貫教育が実施されることにより学力の向上が図られる。なお、関根小学校敷地内に中学校校舎を増築し、屋内運動場は既存の小学校のものを併用することから建設しない。		
計画	平成24年度 用地測量 平成25年度 基本計画	実績	平成24年度 用地測量 平成25年度 基本計画
予算	予算総額 10,191,000 円 (内訳) 用地測量 1,680,000 円 基本計画 8,511,000 円	決算	決算総額 8,347,500 円 (内訳) 用地測量 1,627,500 円 基本計画 6,720,000 円

事業名	その他小中学校の施設・設備の整備事業		
概要	昭和61年建設の田名部中学校屋内運動場屋根及び正面玄関庇について22ヵ所の雨漏りが発生するなど経年劣化が著しく交換を必要としている部分を改修する。		
計画	屋内運動場屋根改修工事	実績	屋内運動場屋根改修工事
予算	予算総額 53,350,000 円 (内訳) 改修工事 53,350,000 円	決算	決算総額 38,640,000 円 (内訳) 改修工事 38,640,000 円

### 【成果】

- ・関根中学校建設事業は、基本計画が3月24日に完了し、配置や平面計画がより具体的になった。関根小中PTAを対象としたアンケート調査を実施し、広い体育館、きれいなトイレ、屋上が欲しいなど102名から310件の要望が届いた。
- ・田名部中学校屋根改修工事は12月11日に完了し、安全な学校運営が可能となった。

### 【課題】

- ・関根中学校建設事業は、実施設計に向けて、詳細な仕様を詰める必要がある。また、工事の際は関根小学校を使用しながらの工事となるため、安全に配慮した計画としなければならない。
- ・施設・設備の整備事業については、施設の長寿命化を図りつつ効率的な改修に努める必要がある。



田名部中屋内運動場屋根改修工事後



田名部中正面玄関庇改修工事後

### (3) 時代に対応した教育内容の充実

事業名		中学校教育用パーソナルコンピュータ等更新事業	
概要	市内中学校9校の教育用のパーソナルコンピュータ(PC)及びソフトウェアは、平成18年度から21年度において整備したものであるが、インストールされているマイクロソフト windows-XPのサポートが2014年4月をもって終了となり、インターネット接続しているPCのセキュリティーに問題が生じることから、25年度は中学校、26年度は小学校に設置されている教育用PCの更新を行うものである。		
計画	サーバー 9台 PC本体 301台 ディスプレイ 301台 インクジェットプリンタ 9台 レーザープリンタ 9台 授業支援ソフト及び教育用統合ソフト一式 (H24. 5. 1時点の生徒数で積算)	実績	サーバー 9台 PC本体 275台 ディスプレイ 240台 インクジェットプリンタ 10台 レーザープリンタ 10台 授業支援ソフト及び教育用統合ソフト一式 (H25. 5. 1時点の生徒数で積算)
予算	予算総額 57,309,000 円 (内訳) 旅 費 79,000 円 PC及び周辺機器購入費 34,915,000 円 ソフトウェア購入費 22,315,000 円	決算	決算総額 28,153,140 円 (内訳) 旅 費 44,640 円 手数料 94,500 円 PC及び周辺機器購入費 22,344,000 円 ソフトウェア購入費 5,670,000 円 決算総額のうち27,900,000円は電源立地地域対策交付金

事業名		防犯ブザー購入事業	
概要	新入学児童に対し、通学時における安全を確保するため、防犯ブザーを配布する。		
計画	新入学児童に配布するため、児童用防犯ブザーを購入する。	実績	平成26年度入学児童分 新入学児童数 464人 (H26. 3. 6時点) 購入数 480個 (残数16個は転入生対応用)
予算	予算総額 436,000 円 (内訳) 購 入 費 436,000 円	決算	決算総額 204,624 円 (内訳) 購 入 費 204,624 円



中学校PC更新事業 (写真は大平中)

## 【成果】

- ・ 中学校のPC更新事業では、切替期間に生徒の学習への影響が最小限となるように、滞りなく更新することができた。
- ・ 防犯ブザー購入事業では、教育委員会で購入した防犯ブザーの他に、民間企業から寄附のあった防犯笛を配布することができ、新入学児童の防犯意識の向上に寄与することができた。

## 【課題】

- ・ PC更新事業は平成26年度に小学校について更新予定だが、windows-XPのサポート終了から更新完了までの間のセキュリティ対策が必要である。
- ・ 防犯ブザー購入事業は、財政事情から予算削減の対象となったが、子どもの通学時の安全・安心の確立を図るため、可能な限り事業を継続していきたい。

## ■ 施策の総括的評価 ■

### 【成果】

- ・ 老朽化が著しい関根中学校を、関根小学校敷地内に建設し、関根地区における併設型小中一貫校として整備する、という方向性を決定したことに伴い、平成24年度においては用地測量、平成25年度においては基本設計を行い、着実に進捗させることができた。
- ・ 平成18年度から21年度にかけて整備した中学校教育用パーソナルコンピュータ(PC)について、搭載されているOS(Operating System) WindowsXPのサポートが平成26年4月に終了することに伴い、市内中学校9校の教育用PC 275台及び周辺機器、並びに教育用ソフトウェア一式を更新し、快適な学習環境を提供することができた。

### 【課題】

- ・ 小中一貫教育を柱とする「むつ市教育プラン」の実現において、「学校規模の適正化」及び「学校施設の整備」は一連で取り組むべき課題であり、今後の児童生徒数の推移、予算規模等を勘案のうえ、長期的な視点に立ち計画性をもって遂行する必要がある。
- ・ 学校規模の適正化等、学校・保護者・地域との合意形成が必要な施策については、児童生徒にとって最善の学習環境を整えることを第一に考え、関係者間で十分な議論を重ねたうえで慎重に判断し、その方向性を決定していく必要がある。



市立関根中学校基本計画 完成イメージパース 平成26年3月

株式会社 八洲建築設計事務所

関根中学校 完成イメージパース

# 1 イ 活力ある学校教育の推進 (担当課：総務課学務グループ・施設健康グループ)

## 【重点項目】

- (1) 教職員の適正・適切な配置
- (2) 通学区域制度の適切な運用及び再編
- (3) 学校規模の適正化に係る研究・検討
- (4) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助
- (5) 学校評議員制度の充実
- (6) 幼稚園への就園奨励
- (7) 奨学金制度の充実
- (8) 学校保健の充実
- (9) 学校給食の充実

## ■ 重点項目の点検 (平成25年度の具体的な取り組み状況) ■

### (1) 教職員の適正・適切な配置

事業名	県費負担職員の任免、服務、その他人事管理				
概要	より良い教育環境創出のため、適正な人事配置を行うとともに、休暇・休職等の服務管理を行う。				
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の人事異動方針に基づき、適正な人員配置を行う。</li> <li>・代替教員の配置を適正に行う。</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事異動については、概ね適正な配置が行われた。</li> <li>・代替教員の配置については、概ね適正な配置ができたものの人材不足のため配置が遅れたり、配置できない学校もあった。</li> </ul>		
予算	予算額	0 円	決算	決算額	0 円

### 【成果】

人事異動方針に則り、概ね適正な教職員の配置が行われた。

### 【課題】

- ・人材不足により、年度途中の病休等の代替教員を配置できない学校があったため、県教委と連携し人材を確保する必要がある。
- ・教諭の不足により本来なら教諭が配置されるべきところへ、臨時講師で対応している学校もあるため教諭の採用増が望まれる。
- ・通常学級に在籍する個別指導が必要な児童生徒に対する、学校からの教員の増員要望に必ずしも応えられていない状況にある。現在は、市のスクールサポーター等で対応しているものの、教科指導のできる教員の加配が望まれる。
- ・23年度から、法改正による小学校第1学年の35人学級が実施され、青森県においては、あおもりっ子育みプランにより小学校第1学年から第3学年まで及び中学校第1学年の33人学級が実施されている。これにより、少人数学級の編制が推進されてきたが、さらにきめ細かい教育を推進するためには、上位学年にも少人数学級の実現が望まれる。
- ・平成25年度は、教員の重大な服務規律違反があった。また、交通違反も依然後を絶たない状況であり、教職員の服務規律の遵守をより強く徹底していく必要がある。

## (2) 通学区域制度の適切な運用及び再編

事業名	むつ市通学区域審議会			
概要	市立の小・中学校に就学する児童生徒の通学区域の適正化を図るため、通学区域の新設又は改廃に関する事項を調査審議し、その結果を答申する。			
計画	必要に応じて行う。	実績	なし	
予算	予算額	0 円	決算 決算額	0 円

### 【課題】

県内有数のマンモス校となっている田名部中学校（生徒数746名・学級数24クラス（平成25年5月1日現在、特別支援学級3クラスを含む））については、同校へ進学する各小学校の通学区域と併せて、今後の生徒数の減少傾向（平成31年度・646名）について慎重に協議していく必要がある。

## (3) 学校規模の適正化に係る研究・検討

事業名	学校統合のための地域説明会等の開催			
概要	むつ市教育プランに沿ったより良い教育環境を実現するために、小規模校の統廃合についてPTAや地域住民の理解・協力を得られるよう話し合いの場を設ける。			
計画	必要に応じて行う。	実績	なし	
予算	予算額	0 円	決算 決算額	0 円

### 【課題】

大畑地区における小規模校2校（正津川小、二枚橋小）について、統合して複式学級を解消したいとの思いはあるが、両地区住民の学校に対する愛着が強く、地域住民が統合に合意するのは困難といわざるを得ない。今後においても、地域及び保護者の意向を確認しながら粘り強く説明を続けていく必要がある。

## (4) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助

事業名	要保護児童生徒援助事業			
概要	経済的な理由によって就学困難な児童生徒に対して、修学旅行費を給付し就学の援助を図る。（生活保護受給世帯）			
計画	対象者 31人 支給額 2,385,000円	実績	対象者 30人 支給額 2,157,000円	
予算	予算総額	2,385,000 円	決算 決算総額	2,157,000 円
算	(内訳) 児童分	405,000 円	(内訳) 児童分	362,000 円
	生徒分	1,980,000 円	生徒分	1,795,000 円

事業名		準要保護児童生徒援助事業																																					
概要	経済的な理由によって就学困難な児童生徒に対して、学用品費等を給付し就学の援助を行う。また、東日本大震災により、避難してきた被災児童生徒に対しても、学用品費等を給付し、就学の援助を行う。																																						
計画	対象者 508人 支給額 48,008,000円 (うち、被災児童生徒分 5人 支給金額 366,000円)	実績	対象者 480人 支給額 44,091,294円 (うち、被災児童生徒分 7人 支給金額 452,339円)																																				
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>48,006,187</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 学用品費</td> <td>9,171,517</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>新入学学用品費</td> <td>2,702,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>8,955,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費</td> <td>500,400</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>26,677,270</td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	48,006,187	円	(内訳) 学用品費	9,171,517	円	新入学学用品費	2,702,000	円	修学旅行費	8,955,000	円	校外活動費	500,400	円	給食費	26,677,270	円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>44,091,294</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 学用品費</td> <td>8,718,608</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>新入学学用品費</td> <td>1,992,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>8,057,300</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費</td> <td>286,411</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>25,036,975</td> <td>円</td> </tr> </table>	決算総額	44,091,294	円	(内訳) 学用品費	8,718,608	円	新入学学用品費	1,992,000	円	修学旅行費	8,057,300	円	校外活動費	286,411	円	給食費	25,036,975	円
予算総額	48,006,187	円																																					
(内訳) 学用品費	9,171,517	円																																					
新入学学用品費	2,702,000	円																																					
修学旅行費	8,955,000	円																																					
校外活動費	500,400	円																																					
給食費	26,677,270	円																																					
決算総額	44,091,294	円																																					
(内訳) 学用品費	8,718,608	円																																					
新入学学用品費	1,992,000	円																																					
修学旅行費	8,057,300	円																																					
校外活動費	286,411	円																																					
給食費	25,036,975	円																																					

事業名		特別支援教育就学奨励事業																																											
概要	小中学校の特別支援学級へ就学する児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及、奨励を図ることを目的として奨励費を支給する。																																												
計画	対象者 89人 支給額 4,208,000円	実績	対象者 65人 支給額 2,759,613円																																										
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>4,207,978</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 学用品費</td> <td>752,735</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>新入学学用品費</td> <td>226,950</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>347,100</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費</td> <td>81,400</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>通学費</td> <td>319,900</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>2,479,893</td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	4,207,978	円	(内訳) 学用品費	752,735	円	新入学学用品費	226,950	円	修学旅行費	347,100	円	校外活動費	81,400	円	通学費	319,900	円	給食費	2,479,893	円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>2,759,613</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 学用品費</td> <td>465,848</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>新入学学用品費</td> <td>141,350</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>204,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費</td> <td>103,143</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>通学費</td> <td>124,080</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>1,721,192</td> <td>円</td> </tr> </table>	決算総額	2,759,613	円	(内訳) 学用品費	465,848	円	新入学学用品費	141,350	円	修学旅行費	204,000	円	校外活動費	103,143	円	通学費	124,080	円	給食費	1,721,192	円
予算総額	4,207,978	円																																											
(内訳) 学用品費	752,735	円																																											
新入学学用品費	226,950	円																																											
修学旅行費	347,100	円																																											
校外活動費	81,400	円																																											
通学費	319,900	円																																											
給食費	2,479,893	円																																											
決算総額	2,759,613	円																																											
(内訳) 学用品費	465,848	円																																											
新入学学用品費	141,350	円																																											
修学旅行費	204,000	円																																											
校外活動費	103,143	円																																											
通学費	124,080	円																																											
給食費	1,721,192	円																																											

### 【成果】

- ・準要保護事業は、基本的には前年度の収入により認定されるが、離婚や傷病による就労不能等に柔軟に対応しており、援助が必要な家庭のほとんどは支給対象となっていると思われる。
- ・市防災政策課と連携を図り、避難してきた被災児童生徒の把握に努め、学用品費等を給付し、就学の援助を図ることができた。
- ・学校における現金取扱の事務負担の軽減を図るため、学用品費については保護者の口座へ直接振り込むこととした。

### 【課題】

準要保護事業の認定基準の拡大や支給費目の拡大、新入学学用品費の早期支給に対する要望が市民及び市民団体より寄せられているので、市財政当局とも協議の上、検討していく必要がある。

## (5) 学校評議員制度の充実

事業名	学校評議員の管理		
概要	学校の教育目標、教育方針、教育活動の実施、地域の連携、学校運営等について、地域の意見を反映させ、開かれた学校づくりを推進するために学校評議員を配置する。		
計画	評議員数 95人 会議開催 3回×22校=66回	実績	評議員数 90人 会議開催 60回
予算	予算総額 1,931,000 円 (内訳) 評議員報酬 1,140,000 円 費用弁償 791,000 円	決算	決算総額 1,645,542 円 (内訳) 評議員報酬 1,027,000 円 費用弁償 618,542 円

### 【成果】

各校とも、3～5人の学校評議員を任命し、ほとんどの学校で年3回の会議を持ち評議員の意見を聴き、学校経営に反映させている。

### 【課題】

むつ市では、平成13年度より学校評議員制度を導入しているが、評議員の再任が3年までであり、小規模校では新たな人材を見つけるのに苦慮している。必要に応じて教育委員会にて人材に関する情報提供をしていく必要がある。

## (6) 幼稚園への就園奨励

事業名	私立幼稚園就園奨励費補助事業		
概要	幼稚園教育の振興を図る目的で、それぞれの世帯の所得に応じて、保育料等を減免措置した幼稚園設置者に対し、就園奨励費として補助する。		
計画	対象者 536人 補助金額 59,011,000円	実績	対象者 560人 補助金額 59,871,700円 (うち、被災幼児分 2人、 補助金額 425,200円)
予算	予算総額 59,011,000 円 (内訳) 補助金 59,011,000 円	決算	決算総額 59,871,700 円 (内訳) 補助金 59,871,700 円

### 【成果】

市内8園全てが対象事業を行っており、該当者には全て減免措置が図られた。

### 【課題】

平成27年度より子ども子育て支援新制度が実施されることに伴い、特段の申し出がない限り既存の私立幼稚園は新制度へ移行することになるため、その動向を把握する必要がある。



(8) 学校保健の充実

事業名		健康診断委託事業	
概要	学校保健安全法第13条「児童生徒等の健康診断」及び第15条「職員の健康診断」の規定による当該児童生徒並びに教職員（県費）の健康管理及び健康維持のために健康診断を毎年定期的実施する。		
計画	対象児童生徒数： 5,000人 対象教職員数： 446人	実績	受診児童生徒数： 4,935人 受診教職員数： 293人 ※教職員の未受診者は当事業以外の人間ドックを受診している。
予算	予算総額 9,886,064 円 (内訳) 委託料 9,886,064 円	決算	決算総額 8,279,363 円 (内訳) 委託料 8,279,363 円

事業名		学校医委託事業	
概要	学校における児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図るため、学校保健安全法第23条の規定に基づき、産業医、学校医及び学校歯科医並びに学校薬剤師を委嘱する。		
計画	①学校医 児童生徒400人以下 @226,000円×13人 児童生徒401人以上700人以下 @293,800円×12人 児童生徒701人以上 @339,000円×1人 ②学校歯科医 児童生徒数500人以下 @224,000円×15人 児童生徒数501人以上 @291,200円×4人 ③学校薬剤師 @157,000円×22人 ④産業医 教職員数50人以上 @360,000円×1人 ⑤眼科耳鼻科医 (川内・大畑・脇野沢検診) 眼科医(大畑) @200,000円×1人 眼科医(川内・脇野沢) @100,000円×2人 耳鼻科医(大畑) @200,000円×1人 耳鼻科医(川内・脇野沢) @100,000円×2人	実績	①学校医 児童生徒400人以下 @226,000円×13人 児童生徒401人以上700人以下 @293,800円×12人 児童生徒701人以上 @339,000円×1人 ②学校歯科医 児童生徒数500人以下 @224,000円×15人 児童生徒数501人以上 @291,200円×4人 ③学校薬剤師 @157,000円×22人 ④産業医 教職員数50人以上 @360,000円×1人 ⑤眼科耳鼻科医 (川内・大畑・脇野沢検診) 眼科医(大畑) @200,000円×1人 眼科医(川内・脇野沢) @100,000円×2人 耳鼻科医(大畑) @200,000円×1人 耳鼻科医(川内・脇野沢) @100,000円×2人
予算	予算総額 15,941,400 円 (内訳) 委託料 15,941,400 円	決算	決算総額 15,941,400 円 (内訳) 委託料 15,941,400 円

事業名	学校災害児童生徒医療費給付事業		
概要	日本スポーツ振興センター法の規定により、保護者の同意を得て児童生徒との間に災害共済給付契約を締結し、学校管理下の災害に対して児童生徒に当該医療費を給付する。		
計画	日本スポーツ振興センター 災害共済掛金 一般：945円 準要保護：715円 要保護：55円	実績	日本スポーツ振興センター災害共済 加入者：4,954人 災害発生件数：418件 医療費給付額：4,776,032円 障害見舞金額：0円
予算	予算総額 4,633,000 円 (内訳) 負担金 4,633,000 円	決算	決算総額 4,541,270 円 (内訳) 負担金 4,541,270 円

事業名	学校保健会補助事業		
概要	学校保健安全教育を推進し、地域社会の協力を得て心身ともに健全な児童、生徒の育成に寄与する学校保健会に協賛する。		
計画	むつ市学校保健会補助金 ①むつ下北学校保健会負担金 161,000円 ②むつ市学校保健会活動費 40,000円	実績	むつ市学校保健会補助金 ①むつ下北学校保健会負担金 159,220円 ②むつ市学校保健会活動費 40,000円
予算	予算総額 201,000 円 (内訳) 補助金 201,000 円	決算	決算総額 199,220 円 (内訳) 補助金 199,220 円

事業名	学校災害入院補償事業		
概要	児童生徒が学校管理下において発生した事故で負傷し入院した場合に、当該児童生徒へ入院補償保険金（見舞金）を支払う。		
計画	①入院15日以下（10,000円） 10人 ②入院16日以上30日以下 （20,000円） 5人	実績	①入院15日以下（10,000円） 1人 ②入院16日以上30日以下 （20,000円） 1人 ③入院31日以上60日以下 （30,000円） 1人
予算	予算総額 200,000 円 (内訳) 補償補填 200,000 円	決算	決算総額 60,000 円 (内訳) 補償補填 60,000 円

## 【成果】

24年3月から25年4月にかけての学校内における感染性胃腸炎の流行を受け、手指消毒剤や嘔吐物処理キットの配布及び手洗いの徹底の呼びかけを実施し、流行防止に努めた。

また、むつ市学校保健会研修会においてアレルギーについての講習会を実施し、その中でアナフィラキシーショックが起きた際に用いるエピペンの実習を行ったことで、アレルギーへの知識を深め、今後の対策に役立てることができた。

【課題】

当市における肥満傾向児の割合について、前年度と比べ若干の改善は見られたが、県平均、全国平均と比較すると依然高い状況である。県では、「健康あおもり21」の事業において学校に講師を派遣し、子どもの肥満対策のための事業を推進することとなっている。平成26年度は県と一体となって事業を推進することとなるが、その後、市独自で同様の肥満対策事業を推進出来るよう、市関係各課と連携し事業を継続、推進できる体制づくりが必要である。

		単位	小学校						中学校					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計	
男 子	むつ市	受検者数	213	213	211	238	237	228	1,340	240	234	248	722	
		軽肥満 (肥満度20%以上30%未満)	18	15	15	22	21	17	108	14	14	21	49	
		中等度肥満 (肥満度30%以上50%未満)	6	12	18	18	17	15	86	17	14	16	47	
		高度肥満 (肥満度50%以上)	3	7	7	9	1	2	29	7	18	6	31	
		肥満計	27	34	40	49	39	34	223	38	46	43	127	
		肥満傾向児出現率	%	12.68	15.96	18.96	20.59	16.46	14.91	16.64	15.83	19.66	17.34	17.59
		青森県肥満傾向児出現率	%	5.52	10.18	11.66	16.52	17.30	15.81	14.49	12.64	12.35		
全国肥満傾向児出現率	%	4.18	5.47	7.26	8.90	10.90	10.02	10.65	8.97	8.27				
女 子	むつ市	受検者数	222	198	220	221	235	256	1,352	222	250	271	743	
		軽肥満 (肥満度20%以上30%未満)	13	16	16	7	13	23	88	11	15	26	52	
		中等度肥満 (肥満度30%以上50%未満)	7	9	12	26	17	19	90	20	12	9	41	
		高度肥満 (肥満度50%以上)	4	1	8	2	4	8	27	4	12	8	24	
		肥満計	24	26	36	35	34	50	205	35	39	43	117	
		肥満傾向児出現率	%	10.81	13.13	16.36	15.83	14.47	19.53	15.16	15.77	15.60	15.84	15.75
		青森県肥満傾向児出現率	%	7.06	9.31	9.02	12.90	12.90	10.46	12.12	10.72	11.27		
全国肥満傾向児出現率	%	3.91	5.38	6.31	7.58	7.96	8.69	8.54	7.83	7.42				

※出典：平成25年度学校保健調査

(注) 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。  
 肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100 (%)

(9) 学校給食の充実

事業名	学校給食管理事業	
概要	共同調理場3施設、単独調理場11施設において「安全・安心」な給食を提供するため、学校給食運営及び給食施設の維持管理を行う。	
計画	直営施設の共同調理場2施設、単独調理場11施設の維持管理及び共同調理場1施設の調理・運搬業務委託を行い、市内小中学校22校に「安全・安心」な給食の提供を行う。	実績 直営13施設の維持管理費 ①賃金 臨時職員28人 38,796,434円 ②燃料費等 15,039,868円 ③消耗品費 9,275,479円 ④検査手数料等 2,042,798円 ⑤工事請負費 541,800円 ⑥負担金等 64,700円 ⑦脇野沢地区運搬業務委託 2,835,000円 北通地区学校給食調理・運搬業務委託 ①調理・運搬業務委託 40,999,900円
予算	予算総額 113,954,000 円 (内訳) 賃金 38,656,000 円 需用費 27,374,000 円 役務費 2,134,000 円 委託料 45,095,000 円 工事請負費 630,000 円 負担金 44,000 円 公課費 21,000 円	決算 決算総額 109,595,979 円 (内訳) 賃金 38,796,434 円 需用費 24,315,347 円 役務費 2,042,798 円 委託料 43,834,900 円 工事請負費 541,800 円 負担金 39,500 円 公課費 25,200 円

事業名		学校給食衛生管理事業	
概要	学校給食運営に係る給食施設の衛生管理を行う。また、「安全・安心」な給食を提供するために必要な知識等の習得のために研修会へ参加する。		
計画	研修会への参加 ①学校給食関係者夏季研修会  ②衛生管理研修会  ③学校給食調理従事員衛生管理研修会  給食施設の衛生管理 ①排水設備の汚泥処理 第三田名部小、大平小、むつ中、近川中	実績	研修会への参加 ①学校給食関係者夏季研修会 主 催：下北地区学校給食連絡協議会 開催日：平成25年8月7日 場 所：むつ市 参加者：40人 ②衛生管理研修会 主 催：青森県教育委員会 開催日：平成25年5月15日 場 所：青森市 参加者：2人 ③学校給食調理従事員衛生管理研修会 主 催：青森県教育委員会 開催日：平成25年8月5日 場 所：青森市 参加者：11人 給食施設の衛生管理 ①排水設備の汚泥処理 第三田名部小、大平小、むつ中、近川中
予算	予算総額 648,000 円 (内訳) 手数料 156,000 円 委託料 491,000 円 公課費 1,000 円	決算	決算総額 360,885 円 (内訳) 手数料 86,100 円 委託料 274,785 円 公課費 0 円

事業名		学校給食厨房機器・用具整備事業、学校給食設備整備事業	
概要	「安全・安心」な学校給食を提供するため、老朽化や耐用年数の超過した調理機器を修繕又は購入し学校給食機器、設備の整備を図る。		
計画	現有設備の修繕及び調整  老朽機器の更新 ①冷蔵庫及び冷凍冷蔵庫 4基 (大平中、大湊中、大畑小、大畑中)	実績	現有設備の修繕及び調整 ①修繕 59件 4,325,003円 ②調整 7件 250,740円 老朽機器の更新 12件 1,563,129円 ①冷蔵庫及び冷凍冷蔵庫 4基 計913,500円 (大平中、大湊中、大畑小、大畑中) ②野菜調理機 (田名部中) 1台 224,962円
予算	予算総額 6,301,000 円 (内訳) 需用費 2,973,000 円 役務費 253,000 円 備品購入費 3,075,000 円	決算	決算総額 6,138,872 円 (内訳) 需用費 4,325,003 円 役務費 250,740 円 備品購入費 1,563,129 円

## 【成果】

児童生徒への安全・安心な給食を提供するために、安全管理及び衛生管理に努めた。全国的に調理施設を介したノロウイルスの集団感染が多く発生したため、調理従業員の衛生管理を徹底し、食中毒等の発生予防に努めた。食物アレルギーを有する児童生徒の給食提供のために、調理機器及び食器等を購入し給食の誤配防止対策を行った。

## 【課題】

各調理施設にある機器は、耐用年数が過ぎた機器が多いため、故障が多く発生し修繕費がかさむ状況にある。また多くの機器は部品の保証期間が過ぎており、部品補償が受けられないことから、抜本的な修繕ができず、臨時的な対処にならざるを得ない状況にある。給食の安定した提供のためにも老朽機器の更新を前倒しして進める必要がある。

全国的にノロウイルスによる集団感染が多く発生しており、調理場及び学校内での衛生管理の維持が課題となっているが、現調理場は老朽化した施設が多く、衛生環境の維持に苦慮している状況である。

近年、食物アレルギーを有する児童・生徒が多く在籍し、事故防止のために調理機器、食器の購入等の対応を行っているものの、現調理場では、独立した調理スペースを確保できずアレルギー対策としては十分とは言えない状況である。また衛生環境の維持の観点からも調理場の大規模な改修や新調理場の建設等を検討する必要がある。

## ■ 施策の総括的評価 ■

### 【成果】

- ・教職員の配置については、人事異動方針に沿って、概ね適正な配置が行われた。
- ・就学援助については、柔軟な対応により援助が必要な家庭のほとんどが支給対象となったと思われる。
- ・奨学金は、大学生の募集枠を増やしたことにより、志願者全員に貸与が決定した。

### 【昨年度と比較して改善された点】

準要保護就学援助費及び特別支援教育就学奨励費の学用品費において、保護者の口座へ直接振り込むこととし、学校における現金取扱事務の負担軽減が図られた。

### 【課題】

- ・教職員の配置については、国の基準により県教育委員会が配置しており、市の教育委員会のみでは如何ともし難いものがある。
- ・学校規模の適正化については、今後も児童生徒数の減少傾向は進んでいくことから、時期、地域の実情を勘案しながら対象となる小規模校の保護者及び地域住民への説明が必要となってくるものと思われる。
- ・奨学金の収納対策については、昨年度は督促方法の改善により収納率がアップしたものの、督促に応じない滞納者には、さらなる徴収対策が必要である。

## 2 生涯学習の推進 文化の充実 (担当課：生涯学習課、川内教育課)

### 【重点項目】

- (1) 生涯学習推進体制の整備と充実
- (2) 学習活動の支援の充実
- (3) 家庭・学校・地域の連携促進
- (4) 芸術・文化活動の奨励と振興
- (5) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用
- (6) 地域の文化活動の推進と関連団体の育成
- (7) 社会教育施設整備

### ■ 重点項目の点検 (平成25年度の具体的な取り組み状況) ■

#### (1) 生涯学習推進体制の整備と充実

事業名	社会教育委員の設置		
概要	社会教育法第15条及び第17条の規定に基づき、社会教育に関する諮問に対して意見を述べ、諸計画の立案を行うため必要な研究調査を行い、教育委員会に助言することができる社会教育委員を設置する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・むつ市社会教育委員設置条例による定数：13人以内</li> <li>・会議開催予定回数：年3回</li> <li>・下北地区社会教育委員連絡協議会の構成団体として活動</li> <li>・青森県社会教育委員連絡協議会の構成団体として活動</li> <li>・委員の資質向上のため、各種研修会への参加</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・任期満了による改選 13名委嘱 任期：H25. 10. 1～H27. 9. 30</li> <li>・社会教育委員の会議：3回開催</li> <li>・下北地区社会教育委員連絡協議会研修会 (むつ市) 8名参加</li> <li>・下北地区社会教育研究大会 (むつ市) 8名参加</li> <li>・青森県社会教育研究大会参加 (青森市) 4名参加</li> </ul>
予算	予算総額 691,000 円 (内訳) 報酬 429,000 円 費用弁償 251,000 円 消耗品費 0 円 負担金補助 11,000 円	決算	決算総額 629,130 円 (内訳) 報酬 403,000 円 費用弁償 207,630 円 消耗品費 7,500 円 負担金補助 11,000 円

### 【成果】

社会教育や地域活動に見識のある方々を社会教育委員に任命することにより、市が実施する生涯学習事業等に関して助言や意見等をいただき、市民のニーズに即した各種生涯学習事業を着実に実施することができた。

また、委員が行う研究調査活動においても、委員の多くが県及び下北地区の研修会等へ積極的に参加し、社会教育の現状に関する見識を深め、委員としての資質向上に努めた。

### 【課題】

委員は、社会教育に関する見識を深めるため会議や研究大会等へ積極的に参加しているが、研究活動の成果を発揮するためにも、社会教育委員の会議をより充実させる必要がある。

(2) 学習活動の支援の充実

事業名		社会教育指導員による学習支援体制の整備	
概要	むつ市社会教育指導員に関する規則に基づき、社会教育の振興を図るため特定分野（青少年・成人教育及び文化財保護）についての直接指導及び学習相談、社会教育関係団体の育成等を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会教育指導員配置数：1人</li> <li>社会教育に関する調査、研究、資料の収集</li> <li>「むつ市社会教育行政」の作成</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会教育指導員1人を配置し、社会教育の振興に効果的な役割を果たした。</li> <li>「むつ市社会教育行政」の作成180部作成</li> </ul>
予算	予算総額 1,791,000 円 (内訳) 報酬 1,556,000 円 費用弁償 212,000 円 消耗品費 4,000 円 印刷製本費 19,000 円	決算	決算総額 1,785,681 円 (内訳) 報酬 1,555,200 円 費用弁償 207,644 円 消耗品費 3,937 円 印刷製本費 18,900 円

事業名		弘前大学生涯学習講演会の開催	
概要	弘前大学生涯学習研究センターと連携し、市民に高度で専門的な教育機関の学習機会を提供し、生涯学習の振興を図る。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>受講料無料の公開講演会：年2回</li> <li>協力団体：まさかり学友会</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開講演会：2回開催</li> <li>参加者数：延べ117人</li> <li>協力団体：まさかり学友会</li> <li>あおもり県民カレッジ単位認定講座</li> </ul>
予算	予算総額 1,800 円 (内訳) 食糧費 1,800 円	決算	決算総額 85 円 (内訳) 食糧費(飲料代) 85 円

事業名		生涯学習フェアの開催	
概要	むつ市文化賞・文化奨励賞を受賞した方の活動歴及び作品を展示する。		
計画	平成25年度の受賞者の活動歴及び作品の展示を行う。	実績	平成25年度受賞者紹介展 ・場所：市役所本庁舎福祉通り ・期間：3月3日～3月20日
予算	予算総額 203,210 円 (内訳) 賃金 56,110 円 報償費 100,000 円 消耗品費 35,100 円 手数料 12,000 円	決算	決算総額 61,627 円 (内訳) 賃金 0 円 報償費 30,000 円 消耗品費 31,627 円 手数料 0 円

事業名		成人式の開催	
概要	二十歳を迎える若人を祝福し、将来のむつ市を担う市民としての自覚と有権者として、また責任ある自立した社会人として、より良い社会の創造に貢献する意識の高揚を図ることを目的として実施する。		
計画	対象：平成5年4月2日から平成6年4月1日生まれの市内 在住者及び参加希望者 対象者数：668人	実績	・実施日：平成26年1月12日(日) ・参加者：430人 ・内容：保育園児による和太鼓、よさこいチームによる祝舞、むつ市出身シンガーによる応援メッセージ
予算	予算総額 862,000 円 (内訳) 報償費 546,000 円 旅費 69,000 円 消耗品費 21,000 円 印刷製本費 153,000 円 食糧費 6,000 円 燃料費 4,000 円 手数料 63,000 円	決算	決算総額 719,044 円 (内訳) 報償費 414,765 円 旅費 66,360 円 消耗品費 17,389 円 印刷製本費 139,755 円 食糧費 3,600 円 燃料費 0 円 手数料 77,175 円

【資料】年別成人式対象者・参加者・参加率一覧

開催年	対象者数			参加者数			参加率
	男性	女性	計	男性	女性	計	
平成19年1月7日	412	378	790	260	246	506	64.1%
平成20年1月13日	369	313	682	197	213	410	60.1%
平成21年1月11日	399	331	730	266	231	497	68.1%
平成22年1月10日	329	328	657	187	222	409	62.3%
平成23年1月9日	370	299	669	216	192	408	61.0%
平成24年1月8日	393	322	715	229	212	441	61.7%
平成25年1月13日	348	323	671	230	214	444	66.2%
平成26年1月12日	370	298	668	221	209	430	64.4%



事業名	学習情報提供システムの構築		
概要	市政だより、新聞、ラジオ、インターネット等幅広いメディアを活用し、市民に対し生涯学習の情報を提供する。		
計画	市政だより、市ホームページ及びFMアジュール等を活用し、情報を提供する。	実績	市政だより及び市ホームページへ随時掲載、FMアジュールの番組「なるほど教育委員会」に4回出演し、事業案内・学習情報の提供を行った。
予算	予算額	0 円	決算 決算額
			0 円

事業名	あおもり県民カレッジ情報の提供		
概要	いつでも、どこでも、自分のペースで学ぶことができるあおもり県民カレッジの単位認定講座の情報提供を行うと共に、学習機関と連携し「学習」「評価」「活用」の各場面を総合的に支援する。		
計画	あおもり県民カレッジと連携を図り、カレッジ登録の学生と併せて、市民に幅広く学習機会を提供する。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下北地区学習団体の「まさかり学友会」と事業での連携を図った。</li> <li>・市政だよりやチラシ等で市民に広く周知した。</li> <li>・認定講座：8講座</li> </ul>
予算	予算額	0 円	決算 決算額
			0 円

事業名	放送大学むつ校の情報提供、利用充実に向けた講演会の支援		
概要	むつ市立図書館内にある「放送大学青森学習センターむつ校」の利用促進に努め、市民の学習意欲の向上を図る。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放送大学の情報提供</li> <li>・講演会の開催</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市政だより等による放送大学入学生の募集。</li> <li>・公開講演会開催：1回</li> <li>・参加者数：27名</li> <li>・むつ校利用件数：延べ367件</li> </ul>
予算	予算額	0 円	決算 決算額
			0 円

#### 【成果】

- ・社会教育指導員の配置による学習相談体制を構築したことにより、社会教育における学習相談分野に効果的な役割を果たすことができた。
- ・このほか、市政だより、市ホームページ及びFMアジュール等幅広いメディアを活用して、生涯学習情報の収集と提供を行った。また、弘前大学と連携し青森県民カレッジの単位認定及び高校生スキルアッププログラムとして、年2回の講座を開催し幅広い高度な学習機会の提供、また、放送大学の利用促進に係る情報提供を行い、市民の生涯学習に対する意欲に応えることができた。
- ・成人式では年代を超えた様々な団体から協力を頂き、手づくりのぬくもりに溢れたあたたかい式典を開催することができた。

#### 【課題】

- ・市民の学習ニーズの把握に努め、学習意欲に応えるようなプログラムを開発する必要がある。
- ・成人式での座席指定について、参加者等からの様々な意見を参考に見直しを図る。

### (3) 家庭・学校・地域の連携促進

事業名		放課後子ども教室推進プラン事業	
概要	文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」と厚生労働省の「放課後児童健全育成事業（保健福祉部所管「なかよし会」）」で構成される「放課後子どもプラン推進事業」を平成19年度から実施している。 放課後子ども教室では、全ての子どもたちを対象に、安全で健やかな居場所作りの推進を目的に、地域の大人が放課後等に子どもたちを見守る体制をつくる。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に2回、事業計画の策定やなかよし会との情報交換の場として、「むつ地域放課後子どもプラン運営委員会」を開催。</li> <li>・各教室ごとにコーディネーターと教育活動サポーターを配置し、事業を実施する。</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営委員会：委員14名、会議開催2回</li> <li>・子ども教室数：4教室</li> <li>・コーディネーターの配置：4人</li> <li>・教育活動サポーターの登録：22人</li> <li>・内容：スポーツ、農園づくり、読み聞かせ、工作等</li> <li>・子ども教室開催回数：516回</li> <li>・参加者数：延べ3,559人</li> </ul>
予算	予算総額 4,103,000 円 (内訳) 報償費 3,578,000 円 旅費 272,000 円 消耗品費 172,000 円 保険料 41,000 円 使用料 40,000 円	決算	決算総額 3,300,391 円 (内訳) 報償費 3,038,640 円 旅費 80,426 円 消耗品費 154,025 円 保険料 27,300 円 使用料 0 円

#### 【成果】

市内4カ所で放課後子ども教室を実施し、子どもの放課後等の安全・安心な居場所づくりを行った。地域ボランティアの協力を得て、子どもたちに農園づくりや自然観察などの貴重な活動を体験させることができた。また、子どもたちにとって地域の大人と交流する良い機会となった。

#### 【課題】

教室開催の企画・調整を行うコーディネーターや子どもたちの安全を見守る教育活動サポーターの引き受け手の確保が難しくなっている。また、県からの補助減額により運営が厳しくなっているため、市の負担額を増やし教室の運営を維持しなければならない。一部地域で、学校や市街地から離れた施設で運営しているため、子どもの往復の安全対策が必要である。



放課後子ども教室 食育教室の様子



放課後子ども教室 野外活動の様子

(4) 芸術・文化活動の奨励と振興

事業名	むつ市文化団体等支援事業		
概要	市内の芸術文化団体(43団体)で組織されるむつ市文化団体協議会が、相互の交流と芸術文化活動の振興を目的に開催している「市民文化祭」や、「むつ下北第九の会」など発表会や演奏会等の活動を展開している文化芸術団体活動の支援を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「市民文化祭」などの事業に対し、会場費及び活動費の補助を行う。</li> <li>・文化関係団体が主催する各種催し当市に関わりのある催しを後援(名義使用)する。</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場提供 第44回むつ市市民文化祭 「むつ下北第九の会」演奏会</li> <li>・後援(名義使用) 第9回むつ市合同盆踊り大会 ほか団体事業</li> <li>・むつ市文化団体協議会の事業への補助金 82,000円</li> </ul>
予算	予算総額 82,000 円 (内訳) 補助金 82,000 円	決算	決算総額 82,000 円 (内訳) 補助金 82,000 円

事業名	むつの子どもたちと演奏家による交流コンサート		
概要	市内の子どもたちに一流の音楽に触れる機会と演奏家と交流する場を提供するため、東京藝術大学教授 佐野 靖氏と演奏家を招いてコンサートを開催する。		
計画	東京藝術大学教授佐野靖氏と演奏家及び市内小・中学校の音楽部と吹奏楽部に出演を依頼。演奏発表及び演奏家と子どもたちの交流を図る。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日：平成25年10月5日(土)</li> <li>・場 所：アウトリーチ活動 しもきた療育園 コンサート会場 下北文化会館</li> <li>・出演者：演奏家4名、第三田名部小学校音楽部、大平中学校吹奏楽部、ワークショップに第二田名部小学校、大平小学校、田名部中学校の代表者も出演。</li> <li>・入場者数：295人</li> </ul>
予算	予算総額 1,795,000 円 (内訳) 報 償 費 280,000 円 旅 費 345,000 円 消耗品費 77,000 円 印刷製本費 192,000 円 食糧費 72,000 円 保険料 5,000 円 手数料 158,000 円 使用料 666,000 円	決算	決算総額 1,317,383 円 (内訳) 報 償 費 133,000 円 旅 費 335,070 円 消耗品費 31,298 円 印刷製本費 198,975 円 食糧費 54,875 円 保険料 4,200 円 手数料 124,425 円 使用料 435,540 円

【成果】

芸術文化活動の支援として「市民文化祭」「第九の演奏会」の発表会場提供を行った。  
 むつの子どもたちと演奏家による交流コンサートでは、各学校と演奏家のステージだけではなく、ワークショップを行うことで子どもたちと演奏家の交流が図られ、貴重な体験活動の場となった。また、市民へ高水準の芸術に触れる機会の提供につながった。

【課題】

これまでと同様に活動支援を継続し、自立した活動ができるような基盤づくりを目指すことと、個人・団体を問わず活動の活性化を図るためサポートをしていく必要がある。会場の提供については、各団体の現状を把握しながら適正に行う必要がある。

(5) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用

事業名	文化財保護審議会の設置		
概要	文化財保護法第190条第1項の規定に基づき、むつ市における文化財の保存及び活用のため、むつ市文化財保護審議会を設置する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・むつ市文化財保護条例第6条による定数：15名以内</li> <li>・会議開催予定回数：年2回 他検討会等開催</li> <li>・下北地方文化財審議委員連絡協議会（下文審）の構成団体として活動</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱人員：15名</li> <li>・文化財保護審議会会議：2回開催</li> <li>・文化財展示場検討会：2回開催</li> <li>・下文審総会・前期研修会(むつ市)：11名</li> <li>・下文審後期研修会(東通村)：11名</li> </ul>
予算	予算総額 1,216,870 円 (内訳) 報酬 819,000 円 費用弁償 380,870 円 負担金 17,000 円	決算	決算総額 729,487 円 (内訳) 報酬 435,500 円 費用弁償 276,987 円 負担金 17,000 円

事業名	文化財講座		
概要	文化財の保存活用に向け、文化財の専門的な知識・技術習得の機会の提供により、研究や説明、埋蔵文化財の発掘調査等に対応可能な人材育成を図る。		
計画	講座の開催：3～4回	実績	日程、講師等調整がつかず、開催できなかった。
予算	予算総額 65,000 円 (内訳) 報償費 60,000 円 消耗品費 5,000 円	決算	決算総額 0 円 (内訳) 報償費 0 円 消耗品費 0 円

事業名	自然環境調査事業		
概要	恵まれた自然環境を有するむつ市における貴重な動植物を継続調査することにより、生態系や希少野生生物の生息を把握し情報発信する。		
計画	①各種調査研究を行う <ul style="list-style-type: none"> <li>・芦崎の自然調査（5回）</li> <li>・釜臥山自然調査</li> <li>・野鳥生態調査（カワウ）</li> <li>・ウグイ遡上調査（5～7月）ほか</li> </ul> ②調査の成果として文化財調査報告にまとめ発行する。	実績	①各種調査結果 <ul style="list-style-type: none"> <li>・芦崎の自然調査：4回実施（5、7、9、10月）</li> <li>・釜臥山自然調査：5～11月</li> <li>・野鳥生態調査（カワウ）：山辺沢沼での調査 通年</li> <li>・ウグイ遡上調査：宇曾利山湖鳥ノ沢での調査6月</li> </ul> ②文化財調査報告第42集発行（300部）
予算	予算総額 977,500 円 (内訳) 報償費 400,000 円 印刷製本費 567,000 円 食糧費 10,500 円	決算	決算総額 487,053 円 (内訳) 報償費 376,000 円 印刷製本費 105,021 円 食糧費 6,032 円

事業名		文化財保護関連事業、天然記念物保護関連事業	
概要	地域の貴重な文化財を後世に伝承すべく、保護、保存及びその有効活用を図るため、各種調査と保護管理に努める。また、特別天然記念物ニホンカモシカ、天然記念物下北半島のサル及びサル生息北限地について、文化財保護法の規定に基づき地域の実情を考慮した保護及び保存に努める。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>①文化財防火デーの実施</li> <li>②文化財パトロールの実施</li> <li>③ニホンカモシカの出没情報等の把握及び対応</li> <li>④特別天然記念物及び天然記念物に関わる手続き等を行う。</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>①文化財防火デー むつ地区：1月21日 防ぎょ訓練（常念寺）、予防査察及び指導、注意喚起等 川内地区：1月24日 防ぎょ訓練（川内八幡宮）等 脇野沢地区：1月28日 防ぎょ訓練（船小屋休憩所）</li> <li>②埋蔵文化財包蔵地（120件）、重要文化財並びに県指定文化財（7件）のパトロール</li> <li>③ニホンカモシカ 目撃情報：21件 滅失届出：6個体</li> <li>④下北半島のサル ・第3次特定鳥獣保護管理計画に基づく現状変更 （申請：5群、計236頭）：1件 ・工事関係等：2件</li> </ul>
予算	予算総額 69,710 円 (内訳) 報償費 15,000 円 消耗品費 54,710 円	決算	決算総額 61,558 円 (内訳) 報償費 14,950 円 消耗品費 46,608 円

事業名		重要文化財保存活用事業・保存修理事業	
概要	「旧大湊水源地水道施設」について保存活用計画を策定する。また、修理に向けた調査事業計画を策定する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保存活用計画検討委員会の運営</li> <li>・修理専門委員の会議運営</li> <li>・保存活用計画及び修理に向けた調査事業計画策定業務委託</li> <li>・保存活用計画書印刷製本</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保存活用計画検討委員会：3回開催</li> <li>・修理専門委員の会議：2回</li> <li>・保存活用計画策定</li> <li>・修理調査事業計画策定</li> </ul>
予算	予算総額 11,706,000 円 (内訳) 報酬 202,000 円 賃金 47,000 円 報償費 26,000 円 旅費 873,000 円 消耗品費 78,000 円 印刷製本費 672,000 円 食糧費 11,000 円 委託料 9,797,000 円	決算	決算総額 9,956,338 円 (内訳) 報酬 182,000 円 賃金 46,128 円 報償費 0 円 旅費 564,915 円 消耗品費 53,816 円 印刷製本費 235,200 円 食糧費 8,192 円 委託料 8,866,087 円

## 【成果】

文化財の保護、保存と活用のため、様々な分野において調査研究が進められ、まとめとして調査報告書を刊行することができた。

重要文化財「旧大湊水源地水道施設」については、保存活用計画が策定され、今後は修理に向けた調査、修理及び活用のための整備等が進められていくことになる。

文化財ならびに天然記念物保護事業においては、埋蔵文化財包蔵地等のパトロール、文化財防火デーに火災予防訓練等を実施し、文化財の保存に努めることができた。

## 【課題】

文化財等の調査内容が多岐にわたっていることから、現地調査における調査員の後継者育成、発掘に努める必要がある。

芦崎の自然調査の報告については、現在「むつ市文化財調査報告」に掲載しているが、自然調査特集の報告書として、別途刊行して欲しいとの意見がある。

特別天然記念物ニホンカモシカの市街地での出没が増加している。また、平成26年度から各庁舎の教育課廃止のため、旧町村区域の市街地に出没すると、現場までの時間がかかるなど、現状の人員で対応するには負担が大きすぎることから、人員確保や業務の各庁舎への依頼等実施方法等を検討する必要がある。



水源地水道施設修理専門委員会

重要文化財「大湊水源地水道施設」の修理、整備について、北の防人事業との連携を図りながら、財政担当と協議しながら計画的に進めていかなければならない。

## （6）地域の文化活動の推進と関連団体の育成

事業名	民俗文化事業				
概要	民俗芸能の保存及び団体育成事業など、伝承や推進を図る。				
計画	各団体に対し、保存、伝承活動に関わる補助及び助成金に関する情報を提供し、活動を支援する。	実績	・各団体へ財団等助成金情報の文書等による提供件数 11件 ・文化遺産を活かした地域活性化事業（内容：田名部の山車行事祭囃子内習い）採択		
予算	予算額	0 円	決算	決算額	0 円

## 【成果】

民俗芸能の保存と伝承活動の支援では、補助・助成金の情報提供を行った結果、1件が助成を受けた。

【課題】

民俗芸能の保存と伝承活動の支援では、少子高齢化等により会員数の減少が進み、存続が危ぶまれる団体もあり、後継者育成が大きな課題となっているため、解決に向けた施策を検討する必要がある。

各団体の現状を把握し、活動支援につながる有効な情報を提供することで、伝承記録の作成や後継者育成の体制づくりをサポートしなければならない。

(7) 社会教育施設整備

事業名		文化財収蔵庫の管理運営	
概要	市内3ヶ所の文化財収蔵庫について、収蔵品の適正な保存をするため管理する。また、むつ地区においては重要文化財を収蔵していること、未整理の収蔵品もあることから、分析・整理作業と共にデータベース化を進めるため施設管理人を配置する。		
計画	むつ地区：収蔵庫の移転、データ化作業、収集、整理、保管  川内地区：民具整理作業（6月～10月、2名） 脇野沢地区：整理、保管	実績	むつ地区：収蔵庫移転 5月下旬～6月初旬 施設管理人の配置1名 資料寄贈(19件)他、貸出等 収蔵物データ化作業 川内地区：民具整理作業実施 2名 (6月～11月) 脇野沢地区：整理・保管に努めた。 むつ地区（追加事業） 新収蔵庫看板設置工事 257,250円
予算	予算総額 12,843,000 円 (内訳) 賃金 2,534,000 円 報償費 10,000 円 消耗品費 332,000 円 水光熱費 7,927,000 円 修繕料 70,000 円 通信運搬費 152,000 円 手数料 491,000 円 委託料 1,237,000 円 使用料 25,000 円 工事請負費 0 円 原材料費 50,000 円 備品購入費 15,000 円	決算	決算総額 8,429,176 円 (内訳) 賃金 2,252,549 円 報償費 0 円 消耗品費 313,089 円 水光熱費 3,555,594 円 修繕料 0 円 通信運搬費 146,034 円 手数料 217,760 円 委託料 1,637,580 円 使用料 0 円 工事請負費 257,250 円 原材料費 49,320 円 備品購入費 0 円

事業名		文化財展示場整備事業	
概要	本庁舎開放エリアを文化財等の展示施設として整備し、文化財の有効活用を図る。		
計画	改修設計業務委託を行う（実施設計）	実績	入札により業者を選定し、実施設計が終了した。 委託先：株式会社山下設計 東北支社 委託金額：16,905,000円
予算	予算総額 17,766,000 円 (内訳) 手数料 74,000 円 委託料 17,692,000 円	決算	決算総額 16,905,000 円 (内訳) 手数料 0 円 委託料 16,905,000 円

事業名		むつ市海と森ふれあい体験館の管理・運営	
概要	豊かな自然を活用して、地域住民の学びの場及び地域を担っていく子どもたちの総合学習の拠点としての役割に加え、県内外からの施設の利用促進を図るため、野外活動の専門的知識と活動のノウハウを持った民間団体を指定管理者とし、各種事業の実施及び施設並びに活動の情報発信を積極的に行っていく。		
計画	①山口和雄所蔵貝殻コレクションの常設展示・その他企画展示  ②企画展示 ・海の生き物生態展示 ・川の生き物生態展示 ・海の生きものの進化  ③親子、海の自然学校の開催  ④親子、山の自然学校の開催  ⑤海の自然観察指導員養成講座の開催	実績	①常設展示 ・世界の貝約100種 その他企画展示（主なもの） ・干支にちなんだ生きもの展 ・世界の切手  ②企画展示 ・むつ湾の生きもの ・ふるさとの川の生きもの ・海の生きものの進化を知ろう  ③親子、海の自然学校 6月2日、8月3日・4日・10日・11日 参加者のべ97名  ④親子、山の自然学校 荒天のため中止  ⑤海の自然観察指導員養成講座 カヌー、シュノーケリング、救急蘇生法講習他 参加者のべ20名 8月5日・8日・17日・18日・25日、 9月8日・27日～29日
予算	予算総額 9,350,000 円 (内訳) 指定管理料 9,350,000 円	決算	決算総額 9,350,000 円 (内訳) 指定管理料 9,350,000 円

#### 海と森ふれあい体験館利用状況

年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用者数	7,367	8,176	7,547	8,227	7,910

#### 【成果】

むつ地区の文化財収蔵庫の完成により、旧むつ地区で分散していた収蔵品を適正に一括して管理できるようになった。

市民念願の展示施設の実施設設計が終了したことにより、建設に向けて前進した。

民間のノウハウを活用して運営されている海と森ふれあい体験館利用者数も安定しており、充実したプログラムにより運営されている。



文化財収蔵庫（むつ地区）

### 【課題】

各収蔵庫に収蔵されている資料については、未整理の部分もあることから、分析・整理と共にデータベース化する費用と専用スタッフの配置等人員確保が必要である。

展示施設建設にあたっては、更なる経費削減を求められたことから、設計変更が必要となる。

海と森ふれあい体験館の運営は、館長1名のスキルに頼る部分があるため、同様のスキルを持った人材の育成が必要となる。

## ■ 施策の総括的評価 ■

### 【成果】

様々な学習機会を提供するために、人員の配置や提供システムの構築を行い、各種の媒体を利用しながら市民に情報提供を行った。その結果として、市民の学習意欲に応えることができた。

社会教育施設については、文化財収蔵庫の運用、文化財展示場の整備推進を図り、これまで収蔵された文化財の活用に向けた基礎作りができた。また、既存の社会教育施設においては、利用者の目的に応じた様々なプログラムの提供により、利用者へ適切な支援を行うことができた。

芸術・文化活動の振興においては、文化活動団体への支援、子ども達へ文化に触れる機会の提供など、文化の継承と発展に寄与することができた。

### 【昨年度と比較して改善された点】

新文化財収蔵庫の運用が始まり、収蔵品の適正な保存、データベース作成作業などが効率的に行える環境が整った。

### 【課題】

社会情勢の変化などにより、市民が求める学習内容も多様化していることから、市民のニーズの把握に努め、適時・適切な学習機会を提供することが必要である。また、学習した成果を活かすための環境を整備する必要がある。

文化財の保護、保存・活用に関する事業が重要性を増していることから、関係機関との連携をこれまで以上に推進し、市民の学習の場、憩いの場となるよう整備していかなければならない。



旧大湊水源地水道施設

### 3 「生きる力」を育む学校教育の推進（担当課：学校教育課）

#### 【重点項目】

- (1) 小中一貫教育の充実
- (2) 質の高い教育課程の創造
- (3) 学力向上対策の充実
- (4) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化
- (5) 特別支援教育体制の充実
- (6) 教育相談活動の充実
- (7) 国際化に対応する教育の推進
- (8) 教育研修センター講座等の充実
- (9) 弘前大学教育学部との連携強化
- (10) 文化・交流事業の充実

#### ■ 重点項目の点検（平成25年度の具体的な取り組み状況） ■

##### (1) 小中一貫教育の充実

事業名	小中一貫教育推進事業		
概要	義務教育9年間を通じた系統的な学習指導、生徒指導を実施し、次代を担う人づくりに資するため、小中学校間の連携・接続を図った教育課程を編成し、9年間を一貫としてとらえた指導体制や教育環境を創るための研究を深化させるとともに、今後の進むべき方向性を市内小・中学校全職員で確認し、学力向上と生徒指導の充実を図る。		
計画	市内9つの中学ブロックへ小中一貫教育の充実に資する研究を委託し、各ブロック毎に計画を立案し、運営、報告書を作成する。また、小中一貫教育の進捗状況、成果と課題を把握するために意識調査を実施し、それをもとに検証委員会を開催する。さらに今後の小中一貫教育の全国的な動向を調査するため、全国サミットへ参加する。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9ブロック小中一貫教育推進研究の委託</li> <li>・ブロック別研究計画作成、配付</li> <li>・ブロック別研究実施報告書の作成、配付</li> <li>・小中一貫教育意識調査の実施と報告書の作成、配付</li> <li>・小中一貫教育検証委員会 年3回開催</li> <li>・小中一貫教育全国サミット会議出席 (つくば市)</li> <li>・川内ブロック小中合同生徒指導研修会開催</li> </ul>
予算	予算総額 800,000 円 (内訳) 報 償 費 0 円 旅 費 220,000 円 委 託 料 550,000 円 負 担 金 30,000 円	決算	決算総額 890,562 円 (内訳) 報 償 費 3,000 円 旅 費 307,562 円 委 託 料 550,000 円 負 担 金 30,000 円

事業名	小中一貫教育学習支援員配置事業		
概要	小中一貫教育における乗り入れ授業、小学校高学年一部教科担任制、きめ細かい学習指導を通して、学力向上と生徒指導の充実を図るため、小中一貫教育学習支援員として教員免許保持者を採用し、各中学校ブロックに配置する。		
計画	乗り入れ授業、小学校高学年一部教科担任制、きめ細かい学習指導など、小中一貫教育を充実させるための学習支援員を、9中学校ブロックに10人配置する。	実績	平成25年4月2日から平成26年3月31日の期間、10人の学習支援員を採用 ・田名部中ブロック…2人配置 ・むつ中、大平中、大湊中、関根中、近川中、大畑中、川内中、脇野沢中…各ブロック1人ずつ配置
予算	予算総額 21,320,000 円 (内訳) 報 酬 18,000,000 円 旅 費 3,320,000 円	決算	決算総額 20,165,241 円 (内訳) 報 酬 17,985,756 円 旅 費 2,179,485 円 ※決算総額のうち17,500,000円は電源立地地域対策交付金

### 【成果】

小中一貫教育意識調査を毎年実施することにより、各ブロックごとの取り組み状況の比較検証が効果的に進められ、成果と課題を明確に把握しながら小中一貫教育の充実に努めることができた。また、小中一貫教育導入の目的でもある学力向上、不登校児童生徒減少の両アクションプランの達成に大きく近づくことができた。

### 【課題】

小中一貫教育学習支援員を活用し、乗り入れ授業を計画し実施をしてみると、時間の調整や乗り入れ授業を行う教員の所持免許、指導時数のバランスなど、課題があることがわかってきた。

また、今後は小中一貫教育の指導区分、前期・中期・後期それぞれの具体的な達成目標を意識した小・中学校教員の協働による取り組みがさらに充実していくよう支援していく必要がある。



中学校の部活動体験 (写真は24年度)



小中合同体育祭の様子 (写真は24年度)

## (2) 質の高い教育課程の創造

事業名	むつ市学校教育指導の方針と重点に関する指導・支援事業		
概要	「指導の方針と重点」に係る説明会・研修会の開催、説明冊子の発行・配付及び学校計画訪問等により、むつ市学校教育の課題である学力の向上と生徒指導の充実に向けて、学校教育がより一層推進されるよう指導・支援を行う。		
計画	説明会・研修会の開催、説明冊子の発行・配付、指導主事による学校訪問(計画・要請)を実施する。	実績	・説明会・研修会を各1回開催、説明冊子を全教職員へ配付 ・全小・中学校への学校訪問を実施
予算	予算総額 194,000 円 (内訳) 旅 費 48,000 円 消耗品費 25,000 円 印刷製本費 106,000 円 医薬材料費 10,000 円 負担金 5,000 円	決算	決算総額 177,370 円 (内訳) 旅 費 28,100 円 消耗品費 47,420 円 印刷製本費 99,981 円 医薬材料費 1,869 円 負担金 0 円

### 【成果】

「指導の方針と重点」に係る説明会、全小・中学校への計画訪問等を通じて、学習指導要領の趣旨を活かした適切な教育課程の編成と当市の教育課題解決に向けた取組を推進できた。

### 【課題】

標準授業時数の確保、学習指導要領に対応した授業の構築、改善のための教員の研修時間の確保、個に応じた指導を充実させるための時間の確保等、教員の業務の多様化、複雑化が進んでいる。

## (3) 学力向上対策の充実

事業名	学力向上対策事業		
概要	児童生徒への学力検査の実施と分析を行い、児童生徒の学力の実態を把握し、学力の向上と教師の指導力の向上を図る。また、教師の授業力の向上を図るため、実践発表や講師を招いて学力の向上に関する指導のあり方等についての研修会を実施する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・むつ市総合学力調査を小学校4年生から中学校3年生まで実施する。</li> <li>・実施結果を分析し、落ち込み部分の把握と、授業改善につなげる。</li> <li>・小学校4教科、中学校5教科を対象に実践発表や講師による講義を実施する。</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に小学校4年生から中学校3年生までを対象に学力調査を実施</li> <li>・学力調査の分析と課題解決を図るため、学力向上推進委員を委嘱</li> <li>・8月に学力向上対策研修会を開催</li> </ul>
予算	予算総額 5,490,000 円 (内訳) 消耗品費 503,000 円 委託料 4,987,000 円	決算	決算総額 5,284,300 円 (内訳) 消耗品費 451,200 円 委託料 4,833,100 円

事業名	学力向上のための活用問題集作成事業		
概要	むつ市総合学力調査及び青森県学習状況調査の結果を踏まえ、むつ市の児童生徒の学力向上につながる実践的な問題集を作成し、各校での活用を通し、授業改善や学力の定着を目指す。		
計画	実施結果の分析後、児童生徒の学習の落ち込みを補完するための活用問題集を作成する。	実績	小学校5年生用4教科と中学校2年生用5教科の活用問題集を作成した。
予算	予算総額 510,000 円 (内訳) 印刷製本費 105,000 円 委託料 405,000 円	決算	決算総額 515,250 円 (内訳) 印刷製本費 110,250 円 委託料 405,000 円

#### 【成果】

- ・総合学力検査結果を分析し、児童生徒の落ち込み部分を把握することで、日常の授業の改善につながった。
- ・児童生徒の基礎的・基本的知識技能の習得や活用及び、学習習慣の確立につながる活用問題集を作成することができた。

#### 【課題】

各校における分析結果の活用や活用問題集の利用状況を確認し、各校の学力向上につながるよう継続的に支援していく必要がある。

#### (4) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化

事業名	生徒指導検査実施事業		
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心理検査（「Q-U」：学級満足度及び学校生活意欲調査）を実施し、学級などの集団に不適応感を持っている児童生徒を早期に発見し、対応することで、いじめや不登校、暴力行為等の減少を図る。</li> <li>・「いじめ・不登校対策研修講座」を開催し、心理検査に関する理論や活用の仕方を習得することにより教員の生徒指導能力の向上を目指す。</li> </ul>		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検査対象 小学校5年生から中学校3年生</li> <li>・分析員による分析会議を行い、分析結果に関する研修会の開催と報告書作成を行う。</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月に小学校5年生から中学校3年生までを対象に心理検査を実施 実施人数 2,902人</li> <li>・分析会議4回、研修会1回開催</li> <li>・報告書を作成して、むつ市内全小・中学校にPDFファイル版をメール送信した。（2月下旬）</li> </ul>
予算	予算総額 1,000,000 円 (内訳) 消耗品費 20,000 円 委託料 980,000 円	決算	決算総額 976,900 円 (内訳) 消耗品費 16,300 円 委託料 960,600 円

事業名		「温かい学校」心のふれあい推進事業	
概要	不登校等の生徒指導上の問題解決と予防に向けて、関係諸機関との連携強化を図った実践的な取り組みを推進するため、大平中学校学区を研究対象に指定し研究委託を行う。		
計画	中学校におけるいじめ、暴力行為、不登校及び少年非行などの生徒の問題行動等の予防や解決に向けた調査研究を行う。また、生徒の健全育成に向け、学校、家庭、地域住民、関係機関等の連携及び協力によるネットワークづくりを踏まえた実践的な取り組みを行う。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に中期学級担任連絡協議会を開催し小中の連携強化を図った。その結果、不登校傾向の児童生徒数の減少に結びつけることができた。</li> <li>生徒指導面での連携の重要性を一層共通理解することができた。</li> <li>いじめ防止、生活の向上をテーマにしたビデオを作成し、文化祭で発表した。</li> </ul>
予算	予算総額 100,000 円 (内訳) 委託料 100,000 円	決算	決算総額 100,000 円 (内訳) 委託料 100,000 円

事業名		サイバーパトロール事業	
概要	携帯電話による問題行動が悪質化、広域化していることから「誹謗・中傷」、「ネットいじめ」、「個人情報流失」等の早期発見、早期対応と情報モラルの育成を目的に、生徒指導関係機関と連携強化を図り、問題行動に対して迅速かつ適切に対応できるよう努める。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータ、携帯電話を活用し、問題行動等の早期発見、早期対応に努める。</li> <li>弘前大学教育学部ネットケータイ問題研究部と連携し情報交換を行う。</li> <li>各学校での携帯電話に関する生徒、保護者への啓発活動の充実を図る。</li> </ul>	実績	各学校への情報提供は年間を通して、1件もなかった。ネットいじめ等の問題行動は一切なく、児童生徒並びに保護者にも携帯電話の持つ危険性に関する認識が一層浸透してきている。当課においても探索等はしてきたが、SNS、プロフともに会員交流サイトへの移行等により実態をつかみきれない現状である。教育相談員の情報により掲示板への個人情報掲載があり、FAXで各小・中学校へ注意喚起を行った。 ※SNS…ソーシャルネットワーキングサイトの略。 コミュニティ型のWebサイト プロフ…プロフィールサイト
予算	予算総額 73,000 円 (内訳) 電話料 73,000 円	決算	決算総額 44,556 円 (内訳) 電話料 44,556 円

事業名	いじめ防止基本方針策定委員会開催事業		
概要	「いじめ防止対策推進法」に伴い、努力義務ではあるが、むつ市民総がかりでいじめの問題に対峙するための基本理念や体制を迅速に整備するために「むつ市いじめ防止基本方針」を策定することとなった。		
計画	第1回協議会 ・委員長、副委員長の選出 ・むつ市いじめ防止基本方針の素案 第2回協議会 ・修正案の確認 第3回協議会 ・再修正案の確認 平成26年3月31日 むつ市いじめ防止基本方針完成 (各校へ通知) 平成26年4月HPで公表予定	実績	策定委員会の開催(3回) 日程：平成26年1月17日、2月4日 2月28日 委員：校長会会長、副会長、児童家庭課、学校教育課 協力者：市連合PTA会長、母親委員長、青少年育成むつ市民会議会長、学校警察連絡協議会会長、警察署、下北教育事務所
予算	予算総額 0 円 報酬 0 円 旅費 0 円	決算	決算総額 114,237 円 (内訳) 報酬 58,500 円 旅費 55,737 円

### 【成果】

- ・むつ市学校警察連絡協議会と連携しながら緊急連絡網を整備し、問題行動に対して迅速・適切に対応した。また、サイバーパトロール事業を開始し4年目となるが、弘前大学ネットパトロール隊との連携により、児童生徒への抑止効果を含め、保護者への啓発活動を継続して進めた結果、ネットいじめや誹謗中傷の発生は1件もなかった。
- ・大平小中学校に「温かい学校」心のふれあい推進事業を研究委託し、学校、家庭、地域住民、警察を含めた関係機関との連携を通して、生徒一人一人を大切にしたい生徒指導に努めることができた。

### 【課題】

- ・25年度の非行報告は22件(小学校5件、中学校17件)で、内容としては万引き、深夜徘徊、火遊び、飲酒、喫煙等である。計画的、継続的にきめ細かい全体指導及び個別指導を強化していく必要がある。
- ・児童生徒の問題行動に対しては、引き続き関係諸機関と連携した対応の推進が望まれる。また、学校においては保護者における管理、監視指導の必要性を十分に説明し、関係諸機関と連携しながら、早期発見、早期対応に努め、継続的、長期的に働きかけていく必要がある。
- ・サイバーパトロール事業を通して、ネットいじめや誹謗中傷は一切なく、個人情報の流失も激減した。しかし、SNS、プロフともに会員交流サイトへ移行したためか、実態をつかみきれない現状にあることから、引き続き情報モラル教室等で児童生徒、保護者に対して啓発活動を行っていく必要がある。

(5) 特別支援教育体制の充実

事業名	スクールサポーター配置事業		
概要	小・中学校の通常学級並びに特別支援学級に在籍する多動傾向や要介助など、特別な配慮を必要とする児童生徒の学校生活や学習活動を支援するため、各校にスクールサポーターを配置し、特別支援教育体制の充実に努める。		
計画	26人を配置し、1日5時間50分以内、年間1,185時間以内で活用する。	実績	・26人を配置し、1日5時間50分以内、年間1,185時間以内で活用した。 ・小学校：8校 18人 ・中学校：6校 8人の配置
予算	予算総額 29,147,000 円 (内訳) 報酬 27,113,000 円 旅費 2,034,000 円	決算	決算総額 28,924,954 円 (内訳) 報酬 26,613,840 円 旅費 2,311,114 円 ※決算総額のうち23,500,000円は電源立地地域対策交付金

事業名	特別支援教育推進委員会開催事業		
概要	特別支援教育推進委員会を開催し、適切な教育環境のもとで、能力や特性に応じたきめ細かな指導が行えるようにするための特別支援教育に関する指導・助言や、適切な就学ができるよう指導・助言を行う。また、総合判断並びに学校の要請による専門検査及び医学検査を実施する。		
計画	年4回開催する。また、学校や保護者の要望により、臨時の特別支援教育推進委員会を開催する。委員会の総合判断の結果を教育長に具申する。	実績	定期開催の特別支援教育推進委員会を4回開催すると共に、臨時の特別支援教育推進委員会を9回開催した。委員会の総合判断に基づき、計64人の就学指導を行った。
予算	予算総額 1,017,000 円 (内訳) 報酬 310,000 円 旅費 579,000 円 消耗品費 53,000 円 検査手数料 75,000 円	決算	決算総額 710,673 円 (内訳) 報酬 131,000 円 旅費 458,953 円 消耗品費 86,345 円 検査手数料 34,375 円

事業名	就学指導説明会開催事業		
概要	市における就学相談及び就学指導の状況について理解を図り、未就学児及び児童生徒の適切な就学に向けて、保育所・保育園・幼稚園と小・中学校が連携しながら、見通しをもってより充実した就学相談及び就学指導を行うことができるようにする。		
計画	市内小・中学校の特別支援教育担当教員（特別支援教育コーディネーター）及び保育所・保育園・幼稚園の就学相談担当者を対象に就学指導説明会・就学相談研修会を開催する。	実績	就学指導説明会・就学相談研修会を開催し、市内小・中学校の特別支援教育コーディネーター22人、保育所・保育園・幼稚園の就学相談担当者20人、及び他町村（佐井村）の就学指導担当者と保育所関係者4名が参加。就学指導の手続きの説明、就学相談における問題点についてのグループ協議や情報交換を行った。
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円

## 【成果】

- ・スクールサポーターの配置により、特別な教育的配慮を要する児童生徒への支援が可能となり、一人一人の教育的ニーズに応じた教育活動が行われている。
- ・すべての小・中学校で特別支援教育コーディネーターが指名され、校内委員会が設置されている。
- ・小学校入学時に個別の教育支援計画を作成するなど、特別支援教育推進委員会の判断をもとに、適切な就学が進められている。
- ・市健康推進課やむつ養護学校教育相談部等との連携が図られ、早期の就学相談が進められている。
- ・就学指導説明会において、学区毎に保育所・保育園・幼稚園と小・中学校の情報交換を行うことができ、連携の一助となった。



就学指導説明会の様子

## 【課題】

- ・特別な教育的配慮を必要とする児童生徒は、個々の状況に応じたより適切な支援が必要であり、各学校からのスクールサポーター配置要望数も多い。そのため、配置を継続するとともに、増員が必要である。また、スクールサポーターの資質向上のための研修等が必要である。
- ・適切な就学相談や教育的支援が行えるような校内体制の充実を図るため、各学校における特別支援教育コーディネーターの専門性を高めると共に、校内委員会を有効に機能させることが不可欠である。また、個別の指導計画及び個別の教育支援計画の作成と活用を更に充実させる必要がある。
- ・適切な就学を目指し、早期からの就学相談や各機関との連携の充実を図ると共に、幼保・小・中の連携強化をさらに推進していく必要がある。

## (6) 教育相談活動の充実

事業名	教育相談支援員配置事業		
概要	不登校などの教育上の諸問題を抱える児童生徒に対して家庭訪問や学校訪問を行い、教育相談活動を実施する。また、適応指導教室に通室している児童生徒の支援にあたりつつ、通室生の実情を細かく把握し、相談員の指示を受け適切な援助を行う。		
計画	教育相談支援員5人を配置し、不登校または不登校傾向にある児童生徒への支援の充実を図る。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談支援員5人を配置し、各小・中学校からの要請に応じて、学校における支援または家庭訪問を行った。</li> <li>・教育相談員等と共にむつ市教育相談室において適応指導にあたった。</li> <li>・小中学校3校に定期的に派遣し教育相談を実施した。</li> </ul>
予算	予算総額 5,230,000 円 (内訳) 報酬 4,752,000 円 旅費 436,000 円 傷害保険料 42,000 円	決算	決算総額 4,407,304 円 (内訳) 報酬 4,130,720 円 旅費 238,354 円 傷害保険料 38,230 円

事業名	適応指導教室開設事業		
概要	不登校または不登校傾向にある児童生徒に対し、学校不適応に対する指導と児童生徒一人一人が自分の生き方を自分の力で切り拓いていくための「自立への支援」を主たるねらいとして、むつ市教育相談室において、教育相談、体験活動、学習支援、集団活動への適応指導等を行い、学校復帰を目指す。		
計画	問題を抱える子ども等の自立支援相談員1人を配置し、不登校等の問題を抱える児童生徒への支援の充実を図る。	実績	むつ市教育相談室に問題を抱える子ども等の自立支援相談員1人を配置し、教育相談員や教育相談支援員と共に児童生徒への支援にあたった。
予算	予算総額 1,065,000 円 (内訳) 報酬 951,000 円 旅費 34,000 円 消耗品費 10,000 円 食料費 10,000 円 自動車借上料 60,000 円	決算	決算総額 920,445 円 (内訳) 報酬 865,920 円 旅費 51,504 円 消耗品費 0 円 賄材料費 3,021 円 自動車借上料 0 円

### 【成果】

- ・適応指導教室では通室生一人一人の実態に応じた支援を行うことができた。中学3年生には進路相談も行い、全員が進路を決め進学することができた。
- ・学校復帰を目標としつつ、その都度、通室生の状況に応じた短期目標を設定し、達成に向けた支援をすることができた。

### 【課題】

- ・不登校が長期化してから相談に来るケースが多い。早期に支援体制を構築できるように学校との連携や情報の共有が必要である。
- ・適応指導教室において、社会性を高めることをねらいとした集団活動を設定するのが困難である。

## (7) 国際化に対応する教育の推進

事業名	ジュニア大使派遣事業		
概要	むつ市内の中学生をアメリカ合衆国ポートエンジェルズ市に派遣し、姉妹都市交流の充実を目指すとともに、次代を担う人材の育成を図る。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生10人を7日間の行程で派遣する。</li> <li>・事前・事後研修会、結団式、報告会の開催及び報告書の作成</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月8日～14日の日程で、中学生10人を7日間の行程で派遣した。</li> <li>・事前・事後研修会の開催及び報告書の作成を行った。派遣生徒の国際理解、交流が十分図られた。</li> </ul>
予算	予算総額 6,340,000 円 (内訳) 報償費 369,000 円 旅費 1,763,000 円 消耗品費 63,000 円 印刷製本費 74,000 円 食料費 120,000 円 手数料 102,000 円 委託料 3,824,000 円 施設入場料 25,000 円	決算	決算総額 5,397,055 円 (内訳) 報償費 129,900 円 旅費 2,031,928 円 消耗品費 17,803 円 印刷製本費 77,175 円 食料費 119,962 円 手数料 145,262 円 委託料 2,862,671 円 施設入場料 12,354 円

事業名	中華民国陽明国民中学との友好交流事業		
概要	旧川内町立川内中学校と中華民国陽明国民中学の姉妹校交流を引き継ぎ、中華民国から中学生と教職員を受け入れ、学校訪問等を通して交流を図る。		
計画	中華民国陽明国民中学からの訪問団を受け入れ、学校訪問等を通して交流する。 また、交流20周年にあたるため、交流員を派遣する。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月7日～10日の日程で、中学生9人を3泊4日間の行程で派遣した。</li> <li>・事前・事後研修会の開催及び報告書の作成を行った。派遣生徒の国際理解、交流が十分図られた。</li> <li>・受入については、陽明国民中学の都合で実施できなかった。</li> </ul>
予算	予算総額 3,071,000 円 (内訳) 報償費 275,000 円 旅費 240,000 円 消耗品費 50,000 円 印刷製本費 74,000 円 食料費 280,000 円 手数料 53,000 円 委託料 2,094,000 円 施設入場料 5,000 円	決算	決算総額 2,540,922 円 (内訳) 報償費 115,749 円 旅費 272,354 円 消耗品費 18,849 円 印刷製本費 176,925 円 食料費 0 円 手数料 0 円 委託料 1,957,045 円 施設入場料 0 円



ジュニア大使派遣事業



陽明国民中学との友好交流事業

事業名	外国語指導助手（ALT）配置事業		
概要	小学校での外国語活動、中学校での英語科、または、小・中学校における諸活動にALTを派遣することによって、日常的な国際理解教育の充実を目指す。		
計画	ALT 4人のうち、小学校2人、中学校2人を配置し、外国語活動、英語科の授業において活用を図る。	実績	ALT 4人を配置し、小学校では外国語活動が必修となった5、6年生において、年間1学級当たり約25時間、中学校では約15時間活用した。
予算	予算総額 18,518,000 円 (内訳) 報酬 14,827,000 円 旅費 2,806,000 円 消耗品費 0 円 保険料 168,000 円 手数料 24,000 円 備品購入費 45,000 円 負担金 648,000 円	決算	決算総額 17,373,592 円 (内訳) 報酬 14,324,068 円 旅費 2,351,044 円 消耗品費 18,449 円 保険料 113,180 円 手数料 21,525 円 備品購入費 0 円 負担金 545,326 円 ※決算総額のうち12,500,000円は電源立地地域対策交付金

## 【成果】

異文化理解について、ALTを活用した授業や国際交流事業を通じて体験的に行うことによって、英語に特定した語学力だけではなく、広い視野から文化の差異、日本の伝統的な良さ、言語の必要性やコミュニケーションの役割などに対する児童生徒の理解を深めることができた。

## 【課題】

- ・ジュニア大使派遣事業に関しては、応募者が2年連続30名を越えている状況であり、定員の増員を検討したい。
- ・ALTの資質向上を図るため、独自の研修会の開催を検討する必要がある。

## (8) 教育研修センター講座等の充実

事業名		教職員研修講座開設事業	
概要	教職員の専門性や資質の向上を図り、実践的な指導力を磨くために授業改善等に係る研修講座を開催する。		
計画	弘前大学教育学部との提携による授業づくり講座など20講座を開催する。	実績	延べ799人が20講座を受講し、指導力の向上が図られた。
予算	予算総額 616,000 円 (内訳) 報 償 費 330,000 円 旅 費 210,000 円 消 耗 品 費 76,000 円	決算	決算総額 402,326 円 (内訳) 報 償 費 223,000 円 旅 費 151,326 円 消 耗 品 費 28,000 円

## 【成果】

- ・20講座に延べ 799人の受講者があり昨年度よりも増加している。むつ下北の教職員が一人一回以上は当センターの講座を受講したことになる。
- ・「必修講座」と「希望講座」の種類認知や各校からの受講申し込み方法も定着している。

## 【課題】

- ・引き続き、各校の教職員のニーズに応じた講座内容を工夫し充実させていくよう努めていきたい。
- ・講座受講を機会に、教育研修センターで授業づくりについて教職員同士で情報交換・意見交換ができるような場を設定する必要がある。
- ・講座内容や関連資料など、受講者以外にも情報提供するために、タイムリーなメルマガ等を発信できるようにしていく体制を整備したい。

(9) 弘前大学教育学部との連携強化

事業名	弘前大学教育学部との連携による校内研修活性化事業		
概要	弘前大学教育学部との連携推進事業の一環として、むつ市内小中学校の校内研修推進における授業実践に、弘前大学教育学部関係者が年間を通じて計画的・継続的に指導・助言に当たり、教員の授業力アップ、資質向上とともに、児童生徒の学力向上を図る。		
計画	授業力向上のための校内研修の充実を図るため、弘前大学教育学部の教授等と苫生小学校とが連携し実践研究を進める。	実績	苫生小学校において、学年ごとに提案授業を行い、研究協議会では弘前大学教授より指導助言を受け、授業改善につなげた。
予算	予算総額 100,000 円 (内訳) 委託料 100,000 円	決算	決算総額 100,000 円 (内訳) 委託料 100,000 円

事業名	弘前大学教育学部「ラボ・バス実験教室」		
概要	弘前大学との連携を進め、教職員の資質向上を図るとともに、地域が抱える教育課題の解決を図る。ラボ・バス実験教室では、科学実験を行うことを通して、科学への関心を高めるとともに、大学生との交流によるキャリア教育の充実を図る。		
計画	大平小学校6年生を対象として、弘前大学教育学部の教授、学生等が指導する「ラボ・バス実験教室」を開催する。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>液体窒素を使った冷凍実験、電子顕微鏡を使った観察実験を実施した。</li> <li>大平小学校6年生 108人を対象として、大平小学校を会場に実験教室を実施した。</li> </ul>
予算	予算総額 50,000 円 (内訳) 消耗品費 50,000 円	決算	決算総額 0 円 (内訳) 消耗品費 0 円

【成果】

- ・校内研修の充実に関して苫生小学校に研究委託した結果、教職員の授業力が向上し、児童の学力向上が認められた。
- ・ラボ・バス実験教室では、電子顕微鏡など普段経験できない実験を提供してもらうとともに、大学生との交流などキャリア教育の面でもよい影響がもたらされた。

【課題】

市内全児童が、ラボ・バス実験教室を体験できるようにしていく必要がある。

(10) 文化・交流事業の充実

事業名	むつ市児童生徒理科研究発表大会		
概要	自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、よりよく問題を解決する資質や能力の育成に資するため、むつ市児童生徒理科研究発表大会を開催し、理科教育の充実を図る。		
計画	大会に参加する児童生徒数の増員を図るため、呼びかけを強化する。(24年度の参加組数18組)	実績	小学校10組、中学校4組、植物栽培コンテスト1組、合計15組(26名)の参加となった。
予算	予算総額 75,000 円 (内訳) 報償費 43,000 円 旅費 32,000 円	決算	決算総額 81,251 円 (内訳) 報償費 55,125 円 旅費 26,126 円

事業名		むつ市中学生夢はぐくむ体験入学事業	
概要	現代医学や科学の最先端技術に触れる機会を与え、中学生の医学、科学への興味・関心を喚起し、学習意欲を高めることにより、むつ市の未来を担う人材の育成を図る。		
計画	首都圏で開催される「ひらめきときめきサイエンス」事業を活用して、むつ市内の中学生に大学体験入学を実施する。「むつ市子ども夢育成基金事業」を活用して行う。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8人の応募者の中から選抜された男子3人、女子2人の5人が、早稲田大学主催の「踊るDNA2013」の講座を受講した。</li> <li>・ 参加の5人は、興味を持って積極的に学び、その成果を平成25年9月5日に市長へ報告した。</li> </ul>
予算	予算総額 500,000 円 (内訳) 旅 費 500,000 円	決算	決算総額 381,720 円 (内訳) 旅 費 381,720 円

事業名		姉妹都市会津若松市子ども派遣交流事業	
概要	むつ市と姉妹都市の関係にある会津若松市を訪問して、姉妹都市交流の意義を理解し、現地の小学生との交流を深めるとともに、会津の歴史や文化を学ぶことを通して次代を担う人材の育成を図る。		
計画	姉妹都市会津若松市に交流員（小学6年生13人）を派遣する。	実績	10月3日から5日までの2泊3日の日程で、21人の応募者の中から小学6年生13人を交流員として派遣した。会津若松市長表敬訪問、門田小学校との交流活動を通して両市の友好親善に寄与した。
予算	予算総額 1,262,000 円 (内訳) 報 償 費 68,000 円 旅 費 83,000 円 消 耗 品 費 50,000 円 食 料 費 0 円 委 託 料 1,058,000 円 施設入場料 3,000 円	決算	決算総額 885,249 円 (内訳) 報 償 費 36,638 円 旅 費 91,567 円 消 耗 品 費 43,834 円 食 料 費 4,400 円 委 託 料 705,920 円 施設入場料 2,890 円



中学生夢はぐくむ体験入学事業  
～早稲田大学の大学院生から説明を受ける～



姉妹都市会津若松市子ども派遣交流事業  
～「什の掟」を学ぶ～

事業名	むつ市子ども夢育成基金事業		
概要	むつ市の小中学生の文化、芸術、スポーツ、体験事業・研修派遣等を積極的に支援し、むつ市を担う子どもたちを育成するための安定的財源確保を目的に基金を設立する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・むつ市の小中学生の文化・芸能活動大会派遣補助</li> <li>・むつ市の小中学生のスポーツ活動大会派遣補助</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・むつ市の小中学生の文化・芸能活動大会派遣補助 197,800円</li> <li>・むつ市の小中学生のスポーツ活動大会派遣補助 1,694,500円</li> <li>・寄附金 1件 50,000円</li> <li>・利子収入 4,165円</li> <li>・平成25年度末基金残高 3,761,290円</li> <li>※平成24年度末基金残高 5,983,577円</li> </ul>
予算	予算総額 3,500,000 円 (内訳) 補助金 3,500,000 円	決算	決算総額 1,946,465 円 (内訳) 補助金 1,892,300 円 積立金 54,165 円

事業名	むつ市子ども議会開催事業		
概要	むつ市の小中学生が、議会体験をとおして市政と市議会のしくみを理解するとともに次代を担う市民としての自覚を深めるために、議員提出議案について質疑・討論・採決と一般質問を行う。		
計画	25年度のこども議員は中学2年生を対象とし、議員数は学校規模に応じて17人が参加する。一般質問では、市政全般、地域の課題・要望、社会情勢等について質問し、答弁は、市長、教育長をはじめとする理事者が行うとともに、進行は市議会議長が行う。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議員提出議案として、「むつ市中学生いじめ防止宣言書」が提案され、全会一致で採択された。</li> <li>・一般質問では、むつ市の現状を捉えた9の質問事項が出され、むつ市の将来を真剣に考えることができた。</li> </ul>
予算	予算総額 425,000 円 (内訳) <ul style="list-style-type: none"> <li>旅費 56,000 円</li> <li>消耗品費 30,000 円</li> <li>印刷製本費 139,000 円</li> <li>食料費 20,000 円</li> <li>委託料 100,000 円</li> <li>自動車借上料 80,000 円</li> </ul>	決算	決算総額 222,575 円 (内訳) <ul style="list-style-type: none"> <li>報償費 8,925 円</li> <li>旅費 55,902 円</li> <li>消耗品費 0 円</li> <li>印刷製本費 10,999 円</li> <li>食料費 10,999 円</li> <li>委託料 135,750 円</li> <li>自動車借上料 0 円</li> </ul>

事業名	学校体育ダンス外部指導者活用事業		
概要	体育のダンス指導の時間に外部指導者を活用することで、生徒がダンスを通して積極的に運動に親しみ、健康な体をつくり、豊かな生活ができる資質を育成する。		
計画	大平中学校 3学年 104名対象 (男子48名、女子56名) 年間5回(1日2時間) 文化祭で発表	実績	大平中学校 3年(104名) 第1回 平成25年9月19日 2クラス 第2回 平成25年9月20日 1クラス 第3回 平成25年9月30日 2クラス 第4回 平成25年10月1日 1クラス 第5回 平成25年10月7日 3クラス 講師 各回毎に2名 文化祭でステージ発表
予算	予算総額 184,000 円 (内訳) 報償費 125,000 円 旅費 59,000 円	決算	決算総額 207,400 円 (内訳) 報償費 125,000 円 旅費 82,400 円

## 【成果】

### 〈むつ市児童生徒理科研究発表大会〉

児童生徒の自由研究への取り組みを促すために、夏休み前に各学校にポスターを配付・掲示をお願いするとともに、理科を担当する教員への指導依頼を行うことによって、ある程度の参加者を維持することができている。また、毎年必ずこの大会に参加することを目的に1年がかりで研究に取り組んでいる児童生徒もおり、当該児童生徒に大きな影響を与えている。

### 〈むつ市中学生夢はぐくむ体験入学事業〉

医学に興味を持つ5名が、早稲田大学主催の「踊るDNA2013」に参加し、大学院生と一緒にDNAの構造を学ぶことができた。むつでは体験できない大学での講義に加え、首都東京を肌で感じることができた。

### 〈姉妹都市会津若松市子ども派遣交流事業〉

交流員は派遣事業終了後に学校に戻ってからの報告会等で、「什の掟」をもとにした「あいづっ子宣言」や合唱のレベルの高さ等を紹介したりしている。また、平成24年度からの小学生の交流員は、その後もポートエンジェルズ市へのジュニア大使に応募するなど意欲的に学校生活を送っている。

### 〈むつ市子ども夢育成基金事業〉

学校以外の申請も増えており、PRの効果が表れている。

### 〈むつ市子ども議会開催事業〉

こども議会では、市政への理解や関心が高まり、むつ市民としての自覚を深めてもらうよい機会となっている。

### 〈学校体育ダンス外部指導者活用事業〉

講師の模範演技や指導の仕方が効果的であり、生徒は伸び伸びとダンスの授業に取り組んだ。運動部に所属していない生徒でも、約2時間の授業の中で、遅れを取ることなく取り組むことができた。

## 【課題】

### 〈むつ市児童生徒理科研究発表大会〉

児童生徒にとって、継続して長期間にわたって研究に取り組むことは、非常に難しいことである。そのために、理科に興味があっても、何らかの働きかけやきっかけなど、心を動かす大きな出来事がなければ研究を始めようとはしない。したがって、そのようなきっかけ作りや指導者の育成が課題である。

### 〈むつ市中学生夢はぐくむ体験入学事業〉

予算の関係や講座の募集人員の関係で募集枠を拡大できないのが課題である。

### 〈姉妹都市会津若松市子ども派遣交流事業〉

ジュニア大使と比べると応募者が少ないことから、各校への事前の周知を工夫する必要がある。

### 〈むつ市子ども夢育成基金事業〉

育成基金への寄附に対して取り崩しが多いため、寄附の募集についても検討が必要である。

### 〈むつ市子ども議会開催事業〉

こども議会を毎年開催することで、内容がマンネリ化してしまうため、市議会の仕組み等を理解する場をこども議会以外でも検討していく必要がある。

### 〈学校体育ダンス外部指導者活用事業〉

予算の関係等により、市内全中学校の全生徒を対象として実施できていないことが課題である。



学校体育ダンス外部指導者活用事業

## ■ 施策の総括的評価 ■

### 【成果】

- ・小中一貫教育に対する意識調査の結果から、平成23年度の調査と比較すると教員の意識が著しく向上してきていることがわかる。このような背景には小中一貫教育の効果として、問題行動の減少や学力の向上を教員自らが実感できるようになってきたことがあると考えられる。
- ・不登校児童生徒数は、平成22年度の100名から平成25年度は47名と半減している。
- ・学力向上については、県学習状況調査において、小学校は3年連続で県平均を上回るとともに、中学校でも英語が初めて県平均を上回るなど、総合でも県平均にあと0.2ポイントまで迫ってきている。

### 【昨年度と比較して改善された点】

- ・小中一貫教育学習支援員を6名から10名に増員したことによって、全ブロックに配置が可能となり、乗り入れ授業の推進、きめ細かな学習指導の充実などの取り組みを推進することができた。
- ・国のいじめ防止対策推進法に基づき、むつ市におけるいじめの防止等のための対策を総合的かつ効率的に推進するために「むつ市いじめ防止基本方針」を策定することができた。
- ・特別支援教育推進委員会開催を3回から4回に増やし、小学校入学時に「個別の教育支援計画」を作成するなど、障がいのある児童生徒等に対する早期からの一貫した支援について充実を図ることができた。

### 【課題】

むつ市の小中一貫教育は校舎一体型と校舎分離型が併存する形で進められている。そのため「取り組みの成果に差が生じているのではないか。」等の質問を受けることもある。しかしながら、各ブロックの実態によって小中一貫教育の進め方に多少の違いはあるが、その成果としての教育効果においては現在のところ格差は生じていない。今後、国の教育改革の動向を見極めながら、校舎一体型と校舎分離型が併存するという本市独自の小中一貫教育の取り組みをさらに充実させていきたい。



姉妹都市津若松市子ども派遣交流事業



中学生夢はぐくむ体験入学事業

#### 4 公民館活動の推進（担当課：中央・川内・大畑・脇野沢公民館）

##### 【重点項目】

- (1) 公民館の適正管理と運営の充実
- (2) 公民館事業の推進
- (3) 社会教育団体等の育成支援
- (4) 生涯学習関連施設等との連携促進
- (5) 視聴覚ライブラリーの充実

#### ■ 重点項目の点検（平成25年度の具体的な取り組み状況） ■

##### (1) 公民館の適正管理と運営の充実

事業名	館長会議・地区公民館長会議の開催																																
概要	館長会議は毎月行われる教育委員会の所属長会議終了後に共通の事項について協議し、公民館の運営に反映させる。また、地区公民館長会議では、年間事業計画等の報告及び地区公民館の運営について協議を行う。																																
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館長会議（4公民館）の開催</li> <li>・年度当初に中央公民館分館長会議、川内地区公民館長会議、大畑地区公民館長会議を開催し、年間の事業説明を実施する。</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館長会議：必要に応じ随時開催</li> <li>・分館長、地区公民館長委嘱状交付 開催日：平成25年4月24日 開催場所：中央公民館</li> <li>・中央公民館分館長会議 開催日：平成25年4月24日 開催場所：中央公民館 出席者：分館長 12人 事務局 7人</li> <li>・川内地区公民館長会議 開催場所：川内公民館 開催日：平成25年10月2日 出席者：地区公民館長 13人 事務局 3人</li> <li>・大畑地区公民館長会議 開催日：平成25年5月20日 開催場所：大畑公民館 出席者：地区公民館長 7人 事務局 3人</li> </ul>																														
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>922,800</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬(むつ)</td> <td>104,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>報酬(川内)</td> <td>415,800</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>報酬(大畑)</td> <td>280,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>123,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	922,800	円	(内訳) 報酬(むつ)	104,000	円	報酬(川内)	415,800	円	報酬(大畑)	280,000	円	旅費	123,000	円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>899,546</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬(むつ)</td> <td>78,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>報酬(川内)</td> <td>415,800</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>報酬(大畑)</td> <td>280,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>125,746</td> <td>円</td> </tr> </table> <p>※むつ(分館長)は会議における出席報酬。川内及び大畑地区公民館長は年間報酬が定められており、旅費は辞令交付式分も含む。</p>	決算総額	899,546	円	(内訳) 報酬(むつ)	78,000	円	報酬(川内)	415,800	円	報酬(大畑)	280,000	円	旅費	125,746	円
予算総額	922,800	円																															
(内訳) 報酬(むつ)	104,000	円																															
報酬(川内)	415,800	円																															
報酬(大畑)	280,000	円																															
旅費	123,000	円																															
決算総額	899,546	円																															
(内訳) 報酬(むつ)	78,000	円																															
報酬(川内)	415,800	円																															
報酬(大畑)	280,000	円																															
旅費	125,746	円																															

事業名		偉人・先人再発見講座	
概要	むつ市出身の偉人・先人の業績を知ること、故郷への思いや誇りを育む。		
計画	むつ市出身の偉人・先人の業績等についての講演会を行う。	実績	県の高校生スキルアッププログラム事業に認定され、一般受講者のほか高校生も参加した。 講師：鳴海 健太郎 氏 講演：「柴五郎の境涯 ～士族の意識と死生観」 開催日：平成26年3月15日 開催場所：中央公民館 受講者数：65人(内高校生 6人)
予算	予算総額 48,000 円 (内訳) 報 償 費 16,000 円 旅 費 17,000 円 消耗品費 15,000 円	決算	決算総額 8,785 円 (内訳) 報 償 費 6,000 円 旅 費 2,785 円 消耗品費 0 円

事業名		ジュニアリーダー研修会等各種事業に参画	
概要	青少年を健全に育成するため、むつ市少年教育指導委員規則に基づき少年教育指導委員配置し、少年教育に関する諮問に応じる。また、教育機関等が実施する少年教育事業に参画し、少年団体活動の基礎的倫理と専門的な技術指導や助言を行い、子ども会などで活かすことができるジュニアリーダーの研修を実施する。		
計画	少年教育指導委員会を開催し、ジュニアリーダー研修会のプログラム立案、及び研修会での技術指導及び助言を行う。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>少年教育指導委員会の開催 開催日：7月9日、8月28日 案 件：研修会の開催要項及びプログラムについて</li> <li>ジュニアリーダー研修会 開催日：9月7日～8日開催 場 所：下北自然の家 参加者：6人</li> </ul>
予算	予算総額 646,000 円 (内訳) 報 酬 312,000 円 旅 費 199,000 円 消耗品費 17,000 円 印刷製本費 3,000 円 食糧費 85,000 円 医薬材料費 10,000 円 洗濯料 10,000 円 使用料 10,000 円	決算	決算総額 424,734 円 (内訳) 報 酬 208,000 円 旅 費 120,877 円 消耗品費 15,079 円 印刷製本費 0 円 食糧費 71,100 円 医薬材料費 1,278 円 洗濯料 4,000 円 使用料 4,400 円



ジュニアリーダー研修会の様子



偉人・先人再発見講座～柴五郎の境涯～

【成果】

偉人・先人再発見講座は、開催時期が3月で高校生等の参加が少なかったものの、会津藩と関わりがあるNHKの大河ドラマ「八重の桜」が放送されていたこともあり、ドラマの登場人物に関する説明等、興味を引く内容となり、好評を得た。

【課題】

偉人・先人再発見講座については、平成24年度から市内各地区で開催予定であったが、各地区のゼミナールや公民館まつりにおいて、地域の偉人・先人について同種の講座・講演会を開催している。各地域に根ざした事業を尊重し、今後は、市民大学の公開講座等の中で「偉人・先人再発見」及び「郷土史」に取り込むことを検討していくことも必要である。

なお、県の高校生スキルアッププログラム事業の認定等により、受講者対象を高校生も含めるのであれば、開催時期の設定について検討する必要がある。

ジュニアリーダー研修会については、開催日が小学校の行事と重なったことにより参加者が激減したことから、今後は対象児童（小学校高学年）である学校行事について、状況を把握してから開催日の設定をするとともに、児童や保護者に興味を持ってもらえる広報手段等を検討する必要がある。

(2) 公民館事業の推進

事業名		市民大学及び各種講座開設事業																		
概要	地域による人々の多種多様化、高度化する学習ニーズに対応するとともに、豊かで活気のある生活の確立を目指す。																			
計  画	①公開講座：10回  ②ゼミナール：28ゼミ  むつ地区：14ゼミ 川内地区：3ゼミ 大畑地区：6ゼミ 脇野沢地区：5ゼミ	実績	①公開講座：10回 (H24：10回) 聴講者数：延べ604人 (H24：888人) 登録者数：102人 (H24：111人) 修了者数：88人 (H24：99人) ②ゼミナール：28ゼミ (H24：28ゼミ) 登録者数411人 (H24：443人)																	
	内訳		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>むつ</td> <td>15ゼミ 203人</td> <td>14ゼミ 213人</td> </tr> <tr> <td>川内</td> <td>3ゼミ 28人</td> <td>3ゼミ 34人</td> </tr> <tr> <td>大畑</td> <td>6ゼミ 157人</td> <td>6ゼミ 152人</td> </tr> <tr> <td>脇野沢</td> <td>4ゼミ 23人</td> <td>5ゼミ 44人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>28ゼミ 411人</td> <td>28ゼミ 443人</td> </tr> </tbody> </table>		H25	H24	むつ	15ゼミ 203人	14ゼミ 213人	川内	3ゼミ 28人	3ゼミ 34人	大畑	6ゼミ 157人	6ゼミ 152人	脇野沢	4ゼミ 23人	5ゼミ 44人	計	28ゼミ 411人
	H25	H24																		
むつ	15ゼミ 203人	14ゼミ 213人																		
川内	3ゼミ 28人	3ゼミ 34人																		
大畑	6ゼミ 157人	6ゼミ 152人																		
脇野沢	4ゼミ 23人	5ゼミ 44人																		
計	28ゼミ 411人	28ゼミ 443人																		
予算	予算総額 1,842,000 円 (内訳) 報償費 995,000 円 旅費 714,000 円 消耗品費 35,000 円 食糧費 6,000 円 施設使用料 0 円 入館料 8,000 円 バス借上料 84,000 円	決算	決算総額 1,346,282 円 (内訳) 報償費 808,500 円 旅費 437,999 円 消耗品費 29,493 円 食糧費 2,390 円 施設使用料 1,300 円 入館料 3,600 円 バス借上料 63,000 円																	

事業名		新田地域ふれあい学級開催	
概要	過疎地域における地域課題、生活課題への意識を高め、生活実践の学習活動をする。健康問題等への家庭教育を中心に学習する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年4月～平成26年3月までに10回開催する。</li> <li>開催場所：中央公民館新田分館</li> </ul>	実	開催場所は中央公民館新田分館 4月10日 開級式 参加者 9人 5月15日 野菜づくりについて 参加者 11人 6月12日 健康教室 参加者 7人 7月10日 施設見学（津軽三味線館…五所川原市）参加者 14人 8月21日 料理教室 参加者 12人 9月11日 健康教室 参加者 7人 10月16日 下北の動物たち参加者 7人 11月13日 地元食材で健康寿命を延ばそう 参加者 6人 12月11日 健康教室 参加者 5人 3月5日 閉級式 参加者 5人
予算	予算総額 118,000 円 (内訳) 報償費 24,000 円 旅費 13,000 円 消耗品費 3,000 円 入館料 4,000 円 バス借上料 74,000 円	決算	決算総額 91,145 円 (内訳) 報償費 12,000 円 旅費 7,235 円 消耗品費 0 円 入館料 1,500 円 バス借上料 70,410 円

事業名		婦人学級開催	
概要	現代社会における家庭・家族の意味を考え、より豊かな人間性を育むための知識・技術を習得し、女性としての生き方を考える。		
計画	むつ地区8学級 <ul style="list-style-type: none"> <li>各地区で地域にあった年間の事業計画を立てる。</li> <li>他地区の婦人学級等との合同学習や女性団体の行事に参加し交流を深める。</li> </ul>	実	むつ地区8学級（うち1学級休会） <ul style="list-style-type: none"> <li>学級長会議及び合同学習               <ul style="list-style-type: none"> <li>4月18日 平成25年度の事業計画について</li> <li>6月6日 市民協働参画「希望のまち・むつ市について」</li> <li>6月20日 第44回日展青森展…弘前市</li> <li>9月19日 「アックスグリーン」見学</li> <li>2月14日 学級運営について情報交換</li> </ul> </li> <li>郷土料理教室               <ul style="list-style-type: none"> <li>10月1日 五目おこわ・茶碗蒸し 他</li> <li>10月12日 そばづくり・いかずし 他</li> <li>10月30日 山菜寿司・八杯汁 他</li> <li>11月6日 帆立の炊き込みご飯・つみれ汁 他</li> </ul> </li> <li>むつ市女性団体連絡協議会の行事への参加               <ul style="list-style-type: none"> <li>1月24日 市長と語る会</li> <li>3月2日 女性のつどい</li> </ul> </li> </ul>
予算	予算総額 607,000 円 (内訳) 報償費 108,000 円 旅費 57,000 円 消耗品費 20,000 円 バス借上料 422,000 円	決算	決算総額 131,406 円 (内訳) 報償費 74,000 円 旅費 39,360 円 消耗品費 7,836 円 入館料 10,210 円

事業名		子ども向け各種講座開設	
概要	公民館を身近に親しんでもらい、様々な活動を通じて仲間づくりを図り、児童の健全育成を推進する。		
計画	①子ども講座 夏休みや冬休み小学生を対象に実施  ②子どもお楽しみ会 幼児から小学生までを対象に大型紙芝居やアニメ映画の上映会を実施	実績	①子ども講座 ・パソコン教室 開催日：11月16日 参加者：10人 ・お菓子づくり教室 開催日：12月21日 参加者：20人 ・サイエンス教室 開催日：3月22日 参加者：4人 ②子どもお楽しみ会 ・夏のお楽しみ会日程調整できず中止 ・冬のお楽しみ会 開催日：12月15日 参加者：78人
予算	予算総額 158,000 円 (内訳) 報償費 93,000 円 旅費 40,000 円 消耗品費 25,000 円	決算	決算総額 85,441 円 (内訳) 報償費 61,000 円 旅費 24,441 円 消耗品費 0 円



子ども講座 「パソコン教室」



子ども講座 「お菓子づくり教室」

事業名		家庭教育事業開催	
概要	家庭と地域の絆を深め、子育てに関する情報提供や親同士の交流を図る機会、学習機会を提供する。また、子どもたちの思いやりの心、豊かな恵まれた自然の中での自然体験活動、地域における生活体験や豊富な社会体験、異年齢集団での多彩な交流活動の場を提供するなど、子どもたちの学習機会の充実に努める。		
計画	青少年の「生きる力」を育むために各種体験学習を実施する。 ・自然体験活動の開催 ・社会体験活動の開催	実績	・自然体験活動 (日程の調整がつかず未実施) ・社会体験活動 (日程調整ができず未実施)
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円

事業名		分館長会議・分館地域づくり講座開催																															
概要	市民が共に集い、学び合う場を提供し、市民全体の活気あふれる地域社会づくりを推進する。																																
計画	①分館長会議を年度当初に開催  ②分館地域づくり講座 5地区2回を実施	実績	①中央公民館分館長会議 開催日：平成25年4月24日 開催場所：中央公民館 案件： ・委嘱状交付 ・平成24年度公民館事業報告 ・平成25年度公民館事業計画 ・分館地域づくり講座の説明  ②分館地域づくり講座 開催日：平成26年2月25日 開催場所：中央公民館川代分館 講座内容：畑の土・野菜づくり 参加者：14人																														
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>302,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>104,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>60,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>93,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>45,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	302,000	円	(内訳) 報酬	104,000	円	報償費	60,000	円	旅費	93,000	円	消耗品費	45,000	円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>120,374</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>78,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>42,374</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> </table>	決算総額	120,374	円	(内訳) 報酬	78,000	円	報償費	0	円	旅費	42,374	円	消耗品費	0	円
予算総額	302,000	円																															
(内訳) 報酬	104,000	円																															
報償費	60,000	円																															
旅費	93,000	円																															
消耗品費	45,000	円																															
決算総額	120,374	円																															
(内訳) 報酬	78,000	円																															
報償費	0	円																															
旅費	42,374	円																															
消耗品費	0	円																															

### 【成果】

市民大学については、青森県は全国一の短命県と言われており、全県的に健康に対して市民の関心が高まっていることから、平均寿命のアップを図る健康法についてや、東日本大震災を経験しており、防災に対して再認識すべく講演を行うなど、テレビやインターネットなどでより早い情報を手にして多様な価値観を持っている市民のニーズに応えた課題を取り入れて好評を得た。

婦人学級は新規に入会する学級生が少なくなり高齢化しているが、学習意欲が旺盛で自主的に学習計画を立てて運営しており、他の学級との合同学習を行ったり、女性団体の行事にも積極的に参加し交流が図られた。

子ども向け各種講座については、パソコン講座はインターネットの普及でパソコンを家庭で所有しているところも多く、普段からゲームをして興味を持っている児童が多くなっており、機器に対する抵抗感がなく講習に入ることができている。お楽しみ会には、引率の親子も参加して楽しい一日を過ごし、親同士の交流が図られた。

### 【課題】

家庭教育事業については、日程調整で開催ができなかったが、子どもお楽しみ会には親子での参加が多数あり、アニメの上映や読み聞かせサークルの大型紙芝居の上演などで楽しい一日を過ごし、また親同士の交流も深まっている。市民大学のゼミナールなどでは個々で学ぶだけでなく、講座に参加した人が、家庭で子どもや孫達と一緒に楽しめるような内容のものを企画したり、開催日を土・日曜日等にし、親子や祖父母も一緒に参加できるような講座を開催すれば、家族間の結びつきを近づけることができるものと考えられる。



(3) 社会教育団体等の育成支援

事業名	各団体への指導・助成		
概要	社会教育指導員により、社会教育の特定分野について直接指導及び学習相談、社会教育団体の育成を行う。(特定分野とは青少年教育、婦人教育を指す。)		
計画	中央公民館に配置した2人の社会教育指導員により、青少年教育及び婦人教育について、直接指導及び学習相談、社会教育団体の育成を行う。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・むつ地区連合婦人会 第38回むつ市婦人体育まつり 開催日：7月28日 場所：むつ市民体育館 参加団体：13団体、3施設</li> <li>・むつ市連合婦人会 第35回むつ市婦人芸能発表会 開催日：2月23日 場所：下北文化会館 出演：16団体、4施設</li> <li>・下北連合婦人会事務局 総会・研修会 5月15日 幹部研修会 10月9日</li> <li>・下北地区子ども会育成連合会事務局 イ) 下北地区子ども会郷土芸能発表会 開催日：2月2日 場所：下北文化会館 参加団体：6団体、59人 ロ) 青森県子連ブロック研修会・指導者育成研究大会(下北地区) 開催日：平成25年10月20日 場所：中央公民館 参加者：29人</li> </ul>
予算	予算総額 1,341,300 円 (内訳) 負担金 618,000 円 補助金 723,300 円	決算	決算総額 1,279,600 円 (内訳) 負担金 556,300 円 補助金 723,300 円



事業名		公民館まつりの開催																																					
概要	各地区の公民館の利用団体等が製作した作品の展示や、日頃の活動を実演を交えて紹介する等の成果を発表する場を設け、各団体との交流と活動のさらなる活性化を図るとともに、訪れた市民はもとより市全体の生涯学習の意識の高揚を図る。																																						
計画	公民館を利用しているサークル等が一堂に会し、日頃の活動を紹介・展示及び体験・実技指導を行い、市民の生涯学習（文化活動）の活性化を図る。各公民館で開催する。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央公民館 開催日：平成25年8月31日～9月1日</li> </ul> <table border="1"> <tr><td></td><td>H25</td><td>H24</td></tr> <tr><td>参加団体</td><td>33団体</td><td>36団体</td></tr> <tr><td>来場者数</td><td>891 人</td><td>873 人</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>川内公民館 開催日：平成25年10月26日～27日</li> </ul> <table border="1"> <tr><td></td><td>H25</td><td>H24</td></tr> <tr><td>参加団体</td><td>14団体</td><td>20団体</td></tr> <tr><td>来場者数</td><td>570 人</td><td>629 人</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>大畑公民館 開催日：平成25年11月2日～3日</li> </ul> <table border="1"> <tr><td></td><td>H25</td><td>H24</td></tr> <tr><td>参加団体</td><td>27団体</td><td>24団体</td></tr> <tr><td>来場者数</td><td>520 人</td><td>780 人</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>脇野沢公民館 開催日：平成25年10月26日～27日</li> </ul> <table border="1"> <tr><td></td><td>H25</td><td>H24</td></tr> <tr><td>参加団体</td><td>9団体</td><td>10団体</td></tr> <tr><td>来場者数</td><td>153 人</td><td>500 人</td></tr> </table>		H25	H24	参加団体	33団体	36団体	来場者数	891 人	873 人		H25	H24	参加団体	14団体	20団体	来場者数	570 人	629 人		H25	H24	参加団体	27団体	24団体	来場者数	520 人	780 人		H25	H24	参加団体	9団体	10団体	来場者数	153 人	500 人
				H25	H24																																		
参加団体	33団体	36団体																																					
来場者数	891 人	873 人																																					
	H25	H24																																					
参加団体	14団体	20団体																																					
来場者数	570 人	629 人																																					
	H25	H24																																					
参加団体	27団体	24団体																																					
来場者数	520 人	780 人																																					
	H25	H24																																					
参加団体	9団体	10団体																																					
来場者数	153 人	500 人																																					
予算	予算総額 464,200 円 (内訳) 報償費 255,000 円 消耗品費 98,200 円 食糧費 21,000 円 洗濯料 90,000 円	決算	決算総額 310,258 円 (内訳) 報償費 196,000 円 消耗品費 56,408 円 食糧費 5,400 円 洗濯料 52,450 円																																				

事業名		市長と語る会、女性のつどい開催支援	
概要	女性団体の育成支援と自主運営を指導し、事業協力する。		
計画	むつ市女性団体連絡協議会（主催） 「市長と語る会」 むつ市の現況や将来について語り合い、問題点や今後の方向性について市長に直接意見を述べる機会を設ける。 「女性のつどい」 市内の女性団体・グループが一堂に集い、各団体の立場から女性の地位向上を目指し、相互理解を深めるための交流を持ち、より豊かで住み良い街づくりを考える。	実績	「市長と語る会」 開催日：平成26年1月24日(金) 開催場所：むつ市役所 参加者：12団体 45人 「女性のつどい」 開催日：平成26年3月2日(日) 開催場所：中央公民館 参加者：15団体 102人
			予算額 0 円

事業名		社会教育指導員配置事業	
概要	むつ市社会教育指導員に関する規則に基づき、社会教育の振興を図るため、社会教育特定分野についての直接指導及び学習相談、社会教育団体の育成を行う目的で、社会教育指導員を配置する。（特定分野とは青少年教育、婦人教育を指す。）		
計画	中央公民館に2人配置する。 青少年教育担当：1人 婦人教育担当：1人	実績	中央公民館に2人配置し、子ども会等青少年団体の支援事務や各種こども講座の開催、婦人学級、婦人会や女性団体連絡協議会の事業を指導・支援し、青少年教育及び婦人教育の振興に効果的な役割を果たした。
予算	予算総額 3,383,000 円 (内訳) 報 酬 3,111,000 円 旅 費 272,000 円	決算	決算総額 3,263,748 円 (内訳) 報 酬 3,110,400 円 旅 費 153,348 円

### 【成果】

各地区で実施された公民館まつりは、公民館を拠点に活動している地域の団体・サークル等の活動・学習成果の発表の場となっており、そのことにより、地域の住民との交流が図られ、生涯学習の推進に貢献している。

社会教育指導員の指導助言を受け、婦人会や女性団体連絡協議会、婦人学級の活動は活発であり、他地域との研修等交流を行って学習したことなどを基に、市政への貴重な提言も行っている。



公民館まつり舞台発表の様子（むつ）

### 【課題】

婦人学級については、高齢化が進むとともに新たに入会する人が少なくなり、学級の存続ができずに解散するところも出てきている。学習意欲の旺盛な会員が長く学級を続けていけるよう、会員増強について助言指導を行っていくことが必要である。

子ども会については、少子化のうえ部活動や塾通い、スポーツ少年団等に入る児童・生徒が多くなる等放課後の活動が多様化しており、子ども会の会員数が少なくなっている。また、地区の子ども会を支援する育成者も少なくなっており、育成者の養成等、地区の育成連絡協議会等との連携が必要となっている。

(4) 生涯学習関連施設等との連携促進

事業名	下北美術展の開催		
概要	下北地域の芸術文化の振興を図るため、児童生徒及び高校・一般の方から書道、絵画、版画、写真を募集し、児童生徒の優秀作品、また、高校・一般の募集作品を展示及び表彰する。下北地方公民館連絡協議会（1市1町3村で構成）が実施		
計画	①児童・生徒の部の開催 （絵画、版画、書道）  ②高校・一般の部の開催 （絵画、写真、書道）	実績	①児童生徒の部 出展数：3,383点 入賞者数：847点 本展：8月10日～25日 場所 中央公民館 移動展：8月31日～9月5日 場所 津軽海峡文化館アルサス  ②高校・一般の部 出展数：110点 入賞者数：41点 本展：10月4日～14日 場所 中央公民館 移動展：10月19日～22日 場所 大間町立公民館
予算	予算総額 567,600 円 (内訳) 報償費 119,000 円 消耗品費 386,200 円 郵便料 5,000 円 プリンター借上料 56,500 円 振込手数料 900 円	決算	決算総額 553,662 円 (内訳) 報償費 113,000 円 消耗品費 354,254 円 郵便料 29,120 円 プリンター借上料 56,448 円 振込手数料 840 円

事業名	かきぞめ大会開催事業		
概要	市内の小・中学生が筆に親しみ美に対する心を養い、毛筆文化の振興と普及を図る。		
計画	第44回むつ市かきぞめ大会の開催 ①むつ会場（むつ・大畑地区） 開催日：1月11日 会場：むつ市民体育館  ②川内会場 開催日：1月7日 会場：川内体育館  ③脇野沢会場 開催日：1月7日 会場：脇野沢地域交流センター	実績	①むつ会場（1月11日開催） 場所：第三田名部小学校 参加者：163名 （小学生135名、中学生28名） ②川内会場（1月7日開催） 場所：川内公民館 参加者：24名 （小学生19名、中学生5名） ③大畑会場（1月11日開催） 場所：大畑公民館 参加者：16名 （小学生15名、中学生1名） ④脇野沢会場（1月8日開催） 場所：脇野沢地域交流センター 参加者：4名（小学生4名） ○展覧会（1月18日～26日） 場所：中央公民館 入場者：509名 ※むつ市民体育館の耐震性の問題により一部会場変更
予算	予算総額 139,100 円 (内訳) 報償費 65,000 円 旅費 21,000 円 消耗品費 53,100 円	決算	決算総額 158,612 円 (内訳) 報償費 56,000 円 旅費 14,406 円 消耗品費 88,206 円

事業名	市民大学一日体験入学		
概要	大学での講義・学園祭等の体験を通じ、キャンパスライフを肌身で味わうことにより、学ぶ楽しさの一層の充実を図る。		
計画	青森明の星短期大学一日体験入学	実績	青森明の星短期大学一日体験入学 開催日：平成25年10月20日 参加者数：28人
予算	予算総額 87,000 円 (内訳) バス借上料 87,000 円	決算	決算総額 63,000 円 (内訳) バス借上料 63,000 円

事業名	子どもネブタ合同運行支援		
概要	田名部地区の子どもネブタ運行委員会の支援・事業協力を行う。参加台数の減少及び少子化等に伴い子どもたちのネブタへの参加が少なくなっているなか、ネブタ囃子の講習会を行い、ネブタに興味を持ってもらう。		
計画	運行委員会への支援と事業協力 子どもネブタ囃子講習会を通して、古くから田名部地区で伝わる子どもネブタ囃子の技能を習得するとともに、豊かなふるさとの行事を意識させ、郷土愛を育てる。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・むつ市子どもネブタ運行委員会総会 開催日：平成25年6月8日</li> <li>・子どもネブタ囃子講習会の開催 開催日：平成25年7月20日 参加者数：9人</li> <li>・むつ市子どもネブタ合同運行補助 開催日：平成25年8月7日 参加台数：10台</li> </ul>
予算	予算総額 125,840 円 (内訳) 報償費 96,000 円 旅費 11,840 円 消耗品 18,000 円	決算	決算総額 0 円 ※「むつ市希望のまちづくり補助金」の補助対象となり、運営経費が補助されるようになった。公民館は人的援助をおこなった

## 【成果】

下北美術展については、本展（中央公民館）の他、郡内町村部においても移動展を開催することが定着してきており、下北地域全域の芸術文化の振興に寄与している。

子どもネブタ合同運行については、運営収入の確保について助言を与え、「むつ市希望のまちづくり補助金」の対象事業となった。総会等運営の会議に参加し助言をするとともに、運行にあたり出発式の会場設営や運行先導車及び緊急車両、公道の交通規制の案内立て看板の設置・撤去等により協力した。

## 【課題】

子どもネブタ合同運行については、運行の中心となる子ども会の会員数が減少し、それにとともに、地区の子ども会を支援する育成者が減少し、参加台数の減少につながっていると思われる。子どもの健全育成を図るためにも、その一端を担っている子どもネブタ製作、運行に関わる子ども会の会員や育成者の養成に取り組んで行かなければならない。



ネブタ囃子講習の様子

(5) 視聴覚ライブラリーの充実

事業名		視聴覚教材の充実と視聴覚教育の研究	
概要	視聴覚教材の多様化にともない、整備する教材の研究を行う。		
計画	下北地方視聴覚教育協議会に諮り、購入希望の視聴覚教材を募る。	実績	視聴覚各教材の購入希望を募り、要望の多かった幼児向けの日本の昔ばなしのアニメ、動物や海の生物のDVD、一般向けには健康に関するものの購入を図った。
予算	予算総額 332,000 円 (内訳) 旅 費 5,000 円 消耗品費 33,000 円 修繕料 24,000 円 備品購入費 270,000 円	決算	決算総額 211,903 円 (内訳) 旅 費 0 円 消耗品費 18,703 円 修繕料 0 円 備品購入費 193,200 円

事業名		視聴覚教材の購入	
概要	中央公民館に、むつ市視聴覚ライブラリーを設置し、下北地方視聴覚教育協議会からの受託金をもとに教具・教材を購入して貸し出し等を行い、視聴覚教育の振興を図る。		
計画	学校・保育園・社会教育団体等で活用できる教材を購入するとともに、データブックを発行し、利用促進を図る。	実績	視聴覚教材の購入 DVD (3セット、7本) データブック150部作成し、管内公民館及び学校等に配布 ※視聴覚教材購入負担金 (4町村) 120,750円
予算	予算総額 270,000 円 (内訳) 備品購入費 270,000 円	決算	決算総額 193,200 円 (内訳) 備品購入費 193,200 円

事業名		教材目録の発行、広報等によるPR強化	
概要	視聴覚教材の利用を促進を図るため、教材目録を作成し広報活動に努める。		
計画	データブックの追録版を発行し、管内公民館及び学校等に配布	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>データブックの追録版発行：150部 (新規DVDや寄付を受けた教材リストを掲載)</li> <li>管内公民館及び学校等に配布</li> </ul>
予算	予算総額 24,000 円 (内訳) 消耗品費 24,000 円	決算	決算総額 18,703 円 (内訳) 消耗品費 18,703 円

事業名	連絡調整会議の開催		
概要	多様化する視聴覚教材にともない、整備する教材の選定等について協議する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青森県視聴覚ライブラリー連絡協議会総会出席</li> <li>・下北地方視聴覚教育協議会総会等会議の開催</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青森県視聴覚ライブラリー連絡協議会総会 (5月27日)</li> <li>・下北地方視聴覚教育協議会総会 (5月30日)</li> <li>・下北地方視聴覚教育協議会会議 (11月26日)</li> </ul>
予算	予算総額 5,000 円 (内訳) 旅 費 5,000 円	決算	決算総額 0 円 (内訳) 旅 費 0 円 ※公用車使用のため旅費の支出なし

### 【成果】

学校、保育所で活用できるアニメ等の教材を購入するとともに、青森県は日本一の短命県とされ、全県的に健康に関心を持つ市民が多くなっていること、また、東日本大震災の教訓を受けて防災に関心のある市民が増えていることから、成人一般向けにこれらの教材も購入した。

各公民館や学校等に追録分のデータブックを配布して利用促進を図っている。

### 【課題】

以前、視聴覚教材として活用されていた16ミリフィルムは高額なうえ、映写機については操作技術資格が必要であったが、近年、操作技術資格が不用で安価なうえ操作が簡易なビデオカメラやDVDプレーヤーが普及したことに伴い、教材はDVD等に切り替えて整備してきた。しかし、映像メディアの個人所有が増加していることから、視聴覚ライブラリー教材の貸し出し数が減少してきている。

このような現状から、視聴覚ライブラリーの必要性について検討する段階にきているものと思われ、国や県の動向について情報を把握し、上部団体の青森県視聴覚ライブラリー連絡協議会と構成する他の地方視聴覚教育協議会の実情を踏まえ、今後の方向性について協議していく必要がある。



視聴覚教材 中央公民館正面玄関横に設置

## ■ 施策の総括的評価 ■

### 【成果】

公民館は、地域の住民が集う場、学ぶ場、結ぶ場としての機能を持っている。  
学ぶ内容については、昨今、テレビやインターネットなどのマスメディアの発達により直近の社会情勢について簡単に情報が入手できることで、市民のニーズに応えた時事的な課題を市民大学の公開講座・ゼミナール、婦人学級や地域ふれあい学級など各事業に取り入れて好評を得た。

### 【昨年度と比較して改善された点】

下北美術展において、中央公民館での本展、郡内町村部においての移動展を開催することが定着してきており、出展数も増加し、下北地域の芸術文化の振興に寄与している。

### 【課題】

初級ジュニアリーダー研修会は、開催日が対象児童である小学校高学年の学校行事等と重なり、参加者が激減したことから、学校との連携、参加募集の広報の方法について検討する必要がある。

偉人・先人再発見講座については、各公民館がその地域にゆかりのある先人等について同種の講座を実施しており、地域に根ざした公民館の活動を尊重し、今後は市民大学において、「偉人・先人」を「郷土史」として組み入れて事業継続することも必要である。



下北美術展 本展



かきぞめ大会 (むつ会場)

## 5 地域の教育・文化の向上発展と産業振興（担当課：図書館）

### 【重点項目】

- (1) 図書館施設の適正管理
- (2) 図書館サービス活動の充実
- (3) 利用者ニーズに即した資料整備
- (4) 子どもの読書活動の推進

### ■ 重点項目の点検（平成25年度の具体的な取り組み状況） ■

#### (1) 図書館施設の適正管理

事業名	図書館施設・設備の保守管理業務委託		
概要	図書館を安全かつ、より良い環境で利用していただくための管理業務委託を実施する。		
計画	<p>年間を通じ施設及び設備の適切な管理を業務委託し適正管理を行う。</p> <p>①維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境衛生管理業務委託</li> <li>・空気調和設備保守管理業務委託</li> <li>・植栽管理業務委託</li> <li>・消防用設備保守点検業務委託</li> </ul> <p style="text-align: right;">他 7 件</p> <p>②図書館運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動図書館車運転</li> <li>・管理業務委託</li> <li>・SaaS型図書館システム保守業務委託</li> </ul> <p style="text-align: right;">他 2 件</p> <p>③業務委託 15項目</p>	実	<p>①維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境衛生管理業務委託においては毎日の清掃の他、年3回のワックスがけ、年2回のガラス窓清掃等の特別清掃を行い、施設の適切な維持管理を行った。</li> <li>・空気調和設備保守管理業務委託については年2回の空調機の点検、ポンプ類の点検等担当職員と事前調整し適切に行われた。</li> </ul> <p>②図書館運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動図書館車運転・管理業務委託においては年間105日の運行を支障なく行い、車体の維持管理も適切に行われた。</li> </ul> <p>③業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の業務委託も適切に行われた。</li> </ul>
予算	<p>予算総額 18,353,000 円</p> <p>(内訳) 委託料 (維持管理) 16,486,000 円</p> <p>委託料 (図書館運営) 1,867,000 円</p>	決算	<p>決算総額 17,420,474 円</p> <p>(内訳) 委託料 (維持管理) 15,561,642 円</p> <p>委託料 (図書館運営) 1,858,832 円</p>



図書館 外観

事業名		図書館施設・設備障害の改修及び修繕	
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設全体について改善・改修箇所がないか点検し利用者の安全と安心に寄与する。</li> <li>業務委託に依存するのみではなく、図書館職員で可能な施設の管理作業を実施する。</li> </ul>		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場区画線引き</li> <li>室外機基盤購入</li> <li>地震時に書架から図書の落下を防ぐブックキーパーの設置（部分設置）</li> <li>図書館周辺に出没するスズメバチ対策の実施。</li> <li>図書館の窓を屋根からの落雪防止の除雪作業</li> <li>冬期間の避難道確保と正面の歩道及び職員駐車場確保</li> <li>照明器具修理交換</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場区画線引き実施</li> <li>室外機基盤4系統購入</li> <li>ブックキーパー設置 69箇所</li> <li>落雪により窓が破損するのを防ぐためのコンパネ設置による防護と除雪及び氷柱落としを実施。</li> <li>光庭から正面玄関までの避難道路を確保（職員の手作業）と図書館前の歩道及び隣接する「青工」（企業）から借り受けている職員用駐車場の除雪（除雪機による）</li> <li>照明器具安定器等交換</li> <li>ブラインド修理</li> <li>除雪機修理</li> </ul>
予算	予算総額 1,724,095 円 （内訳） 施設修繕費 150,000 円 電気器具修繕費 100,000 円 空調基盤購入費 1,008,000 円 駐車場区画線工事 264,600 円 車両修繕費及び手数料 201,495 円	決算	決算総額 1,692,747 円 （内訳） 施設修繕費 347,445 円 電気器具修繕費 91,875 円 空調基盤購入費 753,900 円 駐車場区画線工事 252,000 円 車両修繕費及び手数料 247,527 円

### 【成果】

開館から14年経過し、施設の修繕が必要な箇所が年々増加しているが、業務委託の保守点検で異常等を速やかに調査確認し、併せて職員の日常の見回り等で損傷等が小さいうちに修繕している。会議室等のエアコンの故障及び修理に備えて室外機基盤を購入し、対応できるよう準備している。

### 【課題】

業務委託の業者が変更になっても維持管理に影響がないように仕様書等を精査し、適正契約をしていく必要がある。また、館内で部分的に照明が不十分で読書環境に支障をきたす箇所があり、照明の増設が急務である。駐車場の拡大は最重要課題であり、拡大すれば来館者増とサービス向上につながるものと考えられる。

(2) 図書館サービス活動の充実

事業名		図書館協議会の開催	
概要	図書館協議会は図書館法第14条項の規定により、図書館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館サービス業務につき、館長に意見を述べる機関である。		
計画	年間4回の開催を予定	実績	図書館協議会委員10名 第1回 6月25日 : 9名出席 第2回 9月30日 : 8名出席 第3回 12月26日 : 8名出席 第4回 3月24日 : 9名出席
予算	予算総額 411,920 円 (内訳) 報酬 260,000 円 旅費 151,920 円	決算	決算総額 322,102 円 (内訳) 報酬 195,000 円 旅費 127,102 円

事業名		図書館システムの運用について	
概要	インターネットを活用したクラウド方式のSaaS型図書館システムを運用し、図書館運営に活用している。※SaaS型 (Software as a Service)		
計画	利用者の利便性向上のため図書館システム(SaaS型)を導入する。	実績	システムの導入により、貸出、検索業務等が素早く対応可能となった。 利用者数 52,645人 (㊦ 56,335人) 利用冊数 167,754冊 (㊦ 178,801冊) 予約件数 2,589件 (㊦ 2,332件)
予算	予算総額 5,586,676 円 (内訳) 委託料(図書館システム・機器保守料) 252,000 円 図書館システム使用料 2,016,000 円 コンピュータ機器借上料 2,814,676 円 TooLi(図書館資料検索システム)借上料 504,000 円	決算	決算総額 5,611,404 円 (内訳) 委託料(図書館システム・機器保守料) 630,000 円 図書館システム使用料 2,016,000 円 コンピュータ機器借上料 2,461,404 円 TooLi(図書館資料検索システム)借上料 504,000 円

事業名		図書館奉仕員の配置について	
概要	図書館奉仕員は、来館した市民が利用するカウンター業務の大部分を担う図書館運営において継続的雇用が必要不可欠である。その技術や知識の更なる向上を目指し各種研修会等に積極的に参加できる体制をつくり、図書館サービスの向上を図る。		
計画	研修に関しては予め実施回数・実施時期を設定することが難しい職員数であることから、随時調整して可能な限り参加できるようにする。	実績	奉仕員 12名 各種研修参加人数 8名
予算	予算総額 19,909,000 円 (内訳) 報酬 18,663,000 円 旅費 1,246,000 円	決算	決算総額 19,587,659 円 (内訳) 報酬 18,662,400 円 旅費 925,259 円

事業名	移動図書館車の運行業務委託		
概要	図書館本館から遠隔地に居住する方の利便性向上のため、移動図書館車「ほほえみ号」(Book Mobile)を運行し、図書館資料利用の拡大を図る。		
計画	小学校、保育園、地区公民館や集会所等18ステーションに5月から12月まで毎週火～金曜日、年間105日運行する。	実績	運行期間：5月7日～11月29日 105日運行 ※12月は返却のみの運行 利用人数：2,554人 貸出冊数：8,419冊
予算	予算総額 779,528 円 (内訳) 委託料 779,528 円	決算	決算総額 779,528 円 (内訳) 委託料 779,528 円



移動図書館車「ほほえみ号」



ほほえみ号内部 約2,500冊を収容

事業名	障がいを持つ人へのサービス		
概要	視覚、聴覚、肢体等、様々な障がいを持つ人々に対する、読書意欲を喚起するための支援を行う。		
計画	障がいを持つ人の図書館の利用について、障がいの状況に応じた援助を実施する。	実績	・車いすの配備(継続) ・大活字本購入冊数：43冊 ・杖置きを設置
予算	予算総額 0 円 (内訳) 購入費 0 円	決算	決算総額 131,290 円 (内訳) 杖置き購入 1,890 円 図書購入費 129,400 円

事業名	むつ市詩歌コンクール		
概要	むつ市在住の児童・生徒・一般の方々を対象に、詩・短歌・俳句・川柳の4部門において創作に対する関心を高め、読書と創作の接点を設けることを目的に実施する。		
計画	夏期に募集し年度内に表彰式、作品展示、文集作成を実施する。	実績	募集：8月1日～9月10日 表彰式：11月23日 作品展示： (図書館) 11月23日～12月9日 (市庁舎) 12月10日～12月23日 応募作品数：3,387点 応募者数：2,210名 入賞者：311名
予算	予算総額 231,000 円 (内訳) 報償費 182,000 円 賞状用紙、文集用紙等購入費 49,000 円	決算	決算総額 200,124 円 (内訳) 報償費 169,500 円 賞状用紙、文集用紙等購入費 30,624 円

事業名	川島雄三映画上映会及び記念室の運営				
概要	図書館内に設置している川島雄三記念室を活用し、映画上映会や展示を開催する。				
計画	川島雄三監督映画上映会及び川島雄三没後五十年展を開催する。	実績	〈川島雄三監督映画上映会〉 6月8日～11日 8タイトル 参加者：127名 〈川島雄三没後五十年展〉 6月4日～11日 展示ホールにて写真パネル展示 記念室付近で関連図書の展示		
予算	予算額	0 円	決算	決算額	0 円

事業名	各種事業（ブックフェスティバル、スタンプラリー、特別展示）				
概要	図書館に親んでもらい、読書意欲の向上と来館者の増加を目的に各種事業を開催する。				
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックフェスティバル 雑誌や本を無料配布、本のブックコート講習会、過去の特別展示の飾りを展示</li> <li>・スタンプラリー 貸出に応じたスタンプ数で景品プレゼント</li> <li>・特別展示 テーマに沿った資料を展示</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックフェスティバル 10月27日 無料配布 参加者：124名 講習会 参加者：8名</li> <li>・スタンプラリー 10月29日～11月30日 カード配布枚数：344枚 景品配布数：しおり76個 メモ帳19個</li> <li>・特別展示 29回</li> </ul>		
予算	予算総額	5,000 円	決算	決算総額	3,496 円
	(内訳) 消耗品費	5,000 円		(内訳) 消耗品費	3,496 円

### 【成果】

映画上映会、ブックフェスティバルは経費をかけず、来館者の増加に寄与している。むつ市詩歌コンクールは毎年参加を楽しみにしている市民も多く好評を得ている。

### 【課題】

インターネットを利用しているSaaS型の図書館システムは本庁舎の回線を利用しているため、本庁舎でインターネットが集中的に使用されると動作が遅く、貸出業務に支障が出ている。



川島雄三記念室



ブックフェスティバル（無料配布の様子）

### (3) 利用者ニーズに即した資料整備

事業名	図書資料の購入		
概要	図書利用者のより良い環境整備のため、図書資料の拡充を図る。		
計画	最新情報の把握と利用者のリクエストによる新刊図書の購入や基本的な図書の更新、話題性のある図書の購入、映像資料の更新・購入を図り利用者のニーズに応じていく。 図書の選書には、小説、哲学、歴史、社会科学、自然科学、技術等の各分野に偏りがでないよう行う。	実績	年度更新必要な資料（年鑑、白書等）や利用者からのリクエストに応じた購入を定期的に行った。 一般：1,661冊 児童：559冊 郷土：89冊 映像資料：45点
予算	予算総額 4,320,000 円 (内訳) 図書購入費 4,320,000 円	決算	決算総額 4,341,811 円 (内訳) 図書購入費 4,341,811 円

事業名	郷土資料及び古文書の収集と情報の提供		
概要	郷土資料（郷土出身者やむつ市にゆかりのある人物の作品及び地域に関する資料）を収集し、地域情報の集積機関としての役割を果たす。		
計画	・新規刊行される、むつ・下北関係資料については可能な限り収集する。 ・収蔵していないものや絶版となっている資料についても古書店の情報や寄贈図書を受け入れるなど、可能な限り対応する。 ・市や県が発行する行政資料の収集に努める。	実績	出版社や地元書店等から情報提供を受けながら資料の収集に当たった。 購入：89冊 寄贈：345冊
予算	予算総額 225,000 円 (内訳) 図書購入費 225,000 円	決算	決算総額 223,423 円 (内訳) 図書購入費 223,423 円

#### 【成果】

図書資料のリクエストに対しては、図書の購入及び相互貸借等による他館との連携によりほとんど応えられる体制である。

#### 【課題】

図書購入費については全ての分野を網羅した選書をしなければならず、必要な資料を揃えられない状態である。映像資料は許諾料上乗せのため1個当たりの単価が高額であり、市民の要望に答えられていない。映像、音楽だけではなく、障がい者、高齢者のための朗読録音資料の継続購入が必要である。

#### (4) 子どもの読書活動の推進

事業名	児童図書資料の購入		
概要	児童図書の充実により、児童の図書利用の促進を図り、将来的な図書利用者の拡大につなげていく。		
計画	図書購入予算の中で絵本、物語等、分野ごとに選定して購入する。	実績	児童図書購入冊数559冊 (絵本：195冊 物語ほか：364冊) 年度末に寄贈申し出のあった50万円分の図書は児童図書を希望(461冊)
予算	予算総額 740,000 円 (内訳) 図書購入費 740,000 円	決算	決算総額 739,350 円 (内訳) 図書購入費 739,350 円

事業名	子ども向け事業の開催		
概要	子ども向けの読み聞かせや紙芝居の上演を行うおはなし会を毎週開催し、季節ごとに大規模なおはなし会を開催して子どもの読書推進を図る。テーマを決めて図書の展示、季節に関連しての図書展示を行っている。市健康推進課との共催事業により、幼児期から本に馴染む機会を提供する。		
計画	①毎週土曜日「おはなし会」 ②季節の「おはなし会」  ③「こわいおはなし会」 ④「夏休み子ども映画劇場」 ⑤「冬休み子ども映画劇場」 ⑥児童の特別展示・季節の展示 ⑦ブックスタート 3歳児健診への協力 ⑧子ども見学ツアー	実績	①午後2時～2時30分 50回384名 ②4月21日：15名 9月29日：17名 12月15日：16名 ③8月1日：126名 ④8月2日～11日：361名 ⑤12月21日～27日：101名 ⑥各18回 ⑦ブックスタートで乳児図書館カード作成、3歳児健診で絵本の閲覧 ⑧小学生13名参加
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円



こども見学ツアーの様子



こわいおはなし会



こわいおはなし会  
プレゼント→

事業名	学校図書館への支援及び県立図書館の協力図書貸出事業				
概要	県立図書館の協力図書及び譲渡図書を活用（県立図書館の協力図書貸出し事業）し、学校図書館の充実に協力する。				
計画	<p>希望する学校へ県立図書館から借り受けた協力図書及び図書セットの斡旋を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・希望校に各500冊</li> <li>・図書セット貸出 低・中・高学年各1セット当たり20冊（前期・後期）</li> </ul> <p>移動図書館が運休する冬期間、移動図書館所蔵資料の特別貸出を実施する。</p>	実績	<p>協力図書 : 5校 2,313冊 図書セット : 2校 12セット</p>		
予算	予算額	0 円	決算	決算額	0 円

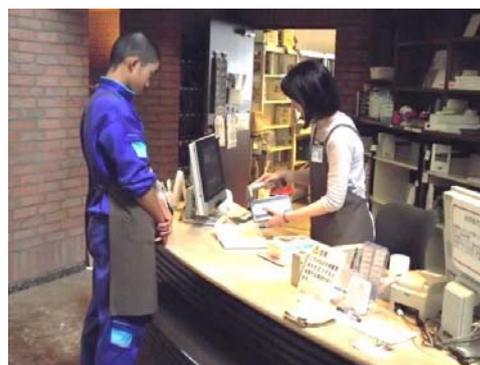
事業名	学校からの見学・インターンシップの受入				
概要	市内及び郡内の小・中・高校から図書館見学・職場体験学習を受け入れる。				
計画	各学校と連絡調整し受入。	実績	<p>〈見学〉 幼稚園 1校 15名 保育所 1校 50名 小学校 11校 334名 中学校 7名（調べ学習）</p> <p>〈職場体験学習〉 中学校 5校 16名 高校 1校 4名 短大 2校 2名</p>		
予算	予算額	0 円	決算	決算額	0 円

【成果】

学校の図書館見学、職場体験学習は、本に興味を持つ機会になり、キャリア教育にも有効であると好評で増加傾向にある。夏休みに図書館奉仕員が主体となり開催している「こわいおはなし会」は好評により参加人数が多いため、広い会場に変更する予定である。

【課題】

職場体験学習は希望日時が重なり、全ての学校の希望受け入れができないので、日程の調整等が必要である。



インターンシップの受け入れ（中学生）

## ■ 施策の総括的評価 ■

### 【成果】

- ・駐車場の区画線の引き直しにより、駐車場での利用向上が図られた。
- ・館内空調設備の室外機基盤のメーカー製造中止により、修理不能になる可能性があるため、基盤を予備購入することにより緊急の修理に備えることができ、施設の適正管理と利用者へのサービス向上の対応が確保された。
- ・地震時の落下を防ぐブックキーパーの設置及び視覚、聴覚肢体などの障がいを持つ人々に対して、車いすの配備、杖置きを設置、大型活字本の購入等により施設の適正管理と幅広い利用者へのサービス向上が図られた。

### 【昨年度と比較して改善された点】

- ・読書意欲の向上と来館者の増大を目的に10月から11月の読書週間に実施している「スタンプラリー」は2回目となり、参加カードの配布と利用冊数に応じた手作りの景品のしおりや読書手帳も利用者から好評であることから事業の周知と効果がでてきている。
- ・映画上映会、ブックフェスティバル、むつ市詩歌コンクールなど各種事業は市民からの意見・要望を取り入れていることで年々内容の充実が図られ多くの市民から好評を得ている。

### 【課題】

- ・図書館敷地内の駐車スペースは50台と少ないため、隣接する企業の「青工」、「下北建設業協会」の駐車場の一部を借用しているが、利用者の多い土曜、日曜日は駐車に不便を生じている。駐車場の確保には多額の経費を必要とするため、現状の財政状況では予算化が困難であることから、広報による駐車場の周知徹底と協力してくれる企業等を増やしたいと考えている。また、駐車場借用先の冬場の除雪費の計上が必要である。
- ・図書館内の照度が低い箇所が多く、視覚に優しい読書環境の提供が急務である。



ブックコート講習会



読書週間に実施しているスタンプラリーの景品

## 6 生涯学習の推進 施設利用者の支援 (担当課：下北自然の家)

### 【重点項目】

- (1) 効率的な施設利用
- (2) 体験型生涯学習の場の提供

### ■ 重点項目の点検 (平成25年度の具体的な取り組み状況) ■

#### (1) 効率的な施設利用

事業名	下北自然の家受入事業		
概要	利用者・団体の目的に配慮したスケジュール管理及び活動プログラムを構成し、適切な支援を行う。		
計画	①学校利用に係る活動支援 ②合宿利用に係る活動支援 ③レジャー及びアウトドア利用に係る活動支援 ④その他 (主催事業等)	実績	①学校利用 5,065人(24,682人) ②合宿利用 1,033人(24,627人) ③レジャー・アウトドア 1,003人(24,054人) ④主催事業等 2,641人(24,874人) 合計 9,742人(249,237人) ※全て、のべ人数
予算	予算総額 7,406,000 円 (内訳) 教材費等 861,000 円 食糧費 5,625,000 円 医薬品費 20,000 円 洗濯料 900,000 円 ※上記には後述の主催事業経費も含む	決算	決算総額 6,858,903 円 (内訳) 教材費等 929,734 円 食糧費 5,267,393 円 医薬品費 30,026 円 洗濯料 631,750 円 ※上記には後述の主催事業経費も含む

事業名	施設管理委託事業		
概要	施設の管理、利用者に対する食事の提供等の包括的な管理を業務委託により行う。		
計画	施設管理の効率化及び経費の削減を図るため、業務委託により実施する。	実績	施設管理に関し、人員配置を柔軟に調整できる(一財)むつ市教育振興会に施設管理の業務委託を行った。
予算	予算総額 50,223,000 円 (内訳) 委託料 50,223,000 円	決算	決算総額 49,955,000 円 (内訳) 委託料 49,955,000 円

#### 【成果】

市内外の学校のほか、部活・サークルの合宿や企業の研修の場としての利用促進を図ったところ、昨年度に比べ、利用者は5.5%増加した。

様々な体験活動や研修などができる宿泊機能を備えた社会教育施設であることから、実施主体である学校や団体に対し、活動プログラムの助言・指導を行うなど、利用者の目的に沿った教育活動の支援をしたほか、食事や研修支援などの業務を委託し、安心・安全で効率的な施設管理を行うことができた。



海釣り・カニ釣り (ちぢり浜)

【課題】

平成26年度から指定管理へ移行とするため、指定管理者となる事業者に対し、的確で効率的な施設の管理運営の指導を行っていく必要がある。

(2) 体験型生涯学習の場の提供

事業名	下北自然の家主催事業の開催		
概要	恵まれた自然環境を活かし、自然や人とのふれあいを通した「体験活動」により、参加者の自主性・協調性を育む主催事業の展開を図る。		
計画	①親子体験活動の開催 ②子ども体験活動の開催 ③自然体験活動リーダー養成研修会の開催 ④その他	実績	①親子体験活動 215人 (24301人) ②子ども体験活動 219人 (24132人) ③リーダー養成研修会 52人 (2449人) ④その他 118人 (24141人) 合計 604人 (24623人) ※全て、のべ人数
予算	予算総額 975,000 円 (内訳) 賃金 73,000 円 謝金 678,000 円 旅費 68,000 円 保険料 156,000 円	決算	決算総額 490,598 円 (内訳) 賃金 71,136 円 謝金 267,500 円 旅費 9,122 円 保険料 142,840 円

【成果】

学校等からの受入事業のほか、体験活動の場である施設を有意義に使用してもらうために、青少年や親子を対象にしたイベントや、自然観察を主とした大人を対象のイベントを実施し、また、新たな体験プログラムを取り入れるなど、体験活動の幅を広げることができた。また、体験活動専門員の指導による体験活動プログラムや、大人を対象とした自然観察の実施は、独自性に富んだ体験学習ができる地域の施設として着実に成果を挙げることができた。



雨の一粒ハイキングの様子

【課題】

平成26年度から指定管理へ運営が移行することとなるが、指定管理者が多種多様で効果的な事業を実施するためにも、本年度までの実績等を踏まえ、指定事業及び自主事業等の調整を図っていく必要がある。

## ■ 施策の総括的評価 ■

### 【成果】

少子化により学校等からの受入事業に係る利用者数は減少の傾向にある中、利用範囲拡大のため、その他の団体やサークル、部活合宿等の利用促進を図ったところ、利用者が増加したことにより、全体の利用件数も増加した。

主催事業においては、事業内容の充実を図るため、新たな体験活動プログラムを取り入れたほか、家族を対象にしたイベントを実施したところ参加者が多数であったことから、今後継続して実施できる事業としての期待も高い。

### 【昨年度と比較して改善された点】

指定管理に向けた施設整備のために備品購入等を行い、受入体制を整えた。

### 【課題】

下北自然の家が県から市へ移譲となった平成20年度以降、有効かつ効率的な施設運営について施策を練り、年間を通じ安定した事業を実施してきたが、平成26年度から運営主体が指定管理者へ移行となることから、市がこれまで培ってきた施設の管理運営方法等を指定管理者となる事業者へ引き継ぎ、支障なく各種事業を運営・維持できるよう助言・指導等を行っていく必要がある。



下北自然の家 施設外観

# ◇点検・評価対象一覧

施策		重点項目	事業名	頁	
1	ア 教育環境の整備促進	(1) 学校規模の適正化	児童生徒通学輸送事業	4	
		(2) 安全・安心な学校施設の整備	関根中学校建設事業 その他小中学校の施設・設備の整備事業	5 5	
		(3) 時代に対応した教育内容の充実	中学校教育用パーソナルコンピュータ等更新事業 防犯ブザー購入事業	6 6	
	イ 活力ある学校教育の推進	(1) 教員の適正・適切な配置	県費負担職員の任免、服務、その他の人事管理	8	
		(2) 通学区域制度の適切な運用及び再編	むつ市通学区域審議会	9	
		(3) 学校規模の適正化に係る研究・検討	学校統廃合のための地域説明会等の開催	9	
		(4) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助	要保護児童生徒援助事業	9	
			準要保護児童生徒援助事業	10	
			特別支援教育就学奨励事業	10	
		(5) 学校評議員制度の充実	学校評議員の配置	11	
		(6) 幼稚園への就園奨励	私立幼稚園就学奨励費補助事業	11	
		(7) 奨学金制度の充実	奨学金の貸与・返還の管理	12	
		(8) 学校保健の充実	健康診断委託事業	13	
			学校医委託事業	13	
			学校災害児童生徒医療費給付事業	14	
			学校保健会補助事業	14	
学校災害入院補償事業	14				
(9) 学校給食の充実	学校給食管理事業	15			
	学校給食衛生管理事業	16			
	学校給食厨房機器・用具整備事業、学校給食設備整備事業	16			
		16			
2	生涯学習の推進 文化の充実	(1) 生涯学習体制の整備	社会教育委員の設置 社会教育指導員による学習支援体制の整備 弘前大学連続講演会の開催 生涯学習フェアの開催	18 19 19 19	
		(2) 学習活動の支援充実	成人式の開催	20	
			学習情報提供システムの構築	21	
			あおり県民カレッジ情報の提供	21	
			放送大学むつ校の情報提供、利用充実に向けた講演会の支援	21	
		(3) 家庭・学校・地域の連携促進	放課後子どもプラン推進事業	22	
		(4) 芸術・文化活動の奨励と振興	むつ市文化団体等支援事業	23	
			むつの子どもたちと演奏家による交流コンサート	23	
		(5) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用	文化財保護審議会の設置	24	
			文化財講座	24	
	自然環境調査事業		24		
	(6) 地域の文化活動の推進と関連団体の育成	文化財保護関連事業、天然記念物保護関連事業 民俗文化事業	25 26		
	(7) 社会教育施設の整備	文化財収蔵庫の管理運営	27		
		文化財展示場整備事業 むつ市海と森ふれあい体験館の管理・運営	27 28		
	3	「生きる力」を育む 学校教育の推進	(1) 小中一貫教育の充実	小中一貫教育推進事業 小中一貫教育支援員配置事業	30 31
			(2) 質の高い教育課程の創造	むつ市学校教育指導の方針と重点に関する指導・支援事業	32
(3) 学力向上対策の充実			学力向上対策事業	32	
			学力向上のための活用問題集作成事業	33	
(4) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化			生徒指導検査実施事業	33	
			「温かい学校」心のふれあい推進事業	34	
			サイバーパトロール事業	34	
			いじめ防止基本方針策定委員会開催事業	35	
(5) 特別支援教育体制の充実			スクールサポーター配置事業	36	
			特別支援教育推進委員会開催事業	36	
		就学指導説明会開催事業	36		
(6) 教育相談活動の充実		教育相談支援員配置事業	37		
		適応指導教室開設事業	38		
(7) 国際化に対応する教育の推進		ジュニア大使派遣事業	38		
		中華民国陽明国民中学との友好交流事業 外国語指導助手（ALT）配置事業	39 39		
(8) 教育研修センター講座等の充実		教職員研修講座開設事業	40		
(9) 弘前大学教育学部との連携強化	弘前大学教育学部との連携による校内研修活性化事業	41			
	弘前大学教育学部「ラボ・バス実験教室」	41			
(10) 文化・交流事業の充実	むつ市児童生徒理科研究発表大会	41			
	むつ市中学生夢はぐくむ体験入学事業	42			
	姉妹都市会津若松市派遣交流事業	42			
	むつ市子ども夢育成基金事業	43			
	むつ市子ども議会開催事業	43			
	学校体育ダンス外部指導者活用事業	43			

施策	重点項目	事業名	頁	
4	(1) 公民館の管理運営の充実	館長会議・地区館長会議	46	
		偉人・先人再発見講座	47	
		ジュニアリーダー研修会等各種事業参画	47	
		(2) 公民館事業の推進	市民大学及び各種講座開設事業	48
			新田ふれあい学級	49
	婦人学級開催		49	
	子ども向け講座開催事業		50	
	家庭教育事業開催		50	
	(3) 社会教育団体等の育成支援	分館長会議・分館地域づくり講座開催	51	
		各団体への指導・助成	52	
		公民館まつり開催事業	53	
		市長と語る会、女性のつどい開催支援	53	
		社会教育指導員配置事業	54	
	(4) 生涯学習関連施設等との連携促進	下北美術展の開催	55	
		かきぞめ大会開催事業	55	
		市民大学一日体験入学	56	
		偉人・先人再発見講座（再掲）	56	
		子どもネプタ合同運行支援	56	
	(5) 視聴覚ライブラリーの充実	視聴覚教材の充実と視聴覚教育の研究	57	
		視聴覚教材の購入	57	
教材目録の発行、広報等によるPR強化		57		
連絡調整会議の開催		58		
5	(1) 図書館施設の適正管理	図書館施設・設備の保守管理業務委託	60	
		図書館施設・設備障害の改修及び修繕	61	
	(2) 図書館サービス活動の充実	図書館協議会の開催	62	
		図書館システムの保守業務委託	62	
		図書館奉仕員の配置について	62	
		移動図書館車の運行業務委託	63	
		障がいをもつ人へのサービス	63	
		むつ市詩歌コンクール	63	
		川島雄三映画上映会及び記念室の運営	64	
		各種事業（ブックフェスティバル、スタンプラリー、特別展示）	64	
	(3) 利用者ニーズに即した資料整備	図書資料の購入	65	
		郷土資料及び子文書の収集と情報提供	65	
	(4) 子どもの読書活動の推進	児童図書の購入	66	
		子ども向け事業の開催	66	
		学校図書館への支援及び県立図書館の協力図書貸出事業	67	
		学校からの見学・インターンシップの受入	67	
	6	生涯学習の推進 施設利用者の支援	(1) 効率的な施設の利用	下北自然の家受入事業
(2) 体験型生涯学習の場の整備			下北自然の家主催事業の開催	70